



神奈川高等女學校教諭西塚かほる著

最新料理教科書

定價 金壹圓五拾錢  
郵税金 拾貳錢

著者西塚かほる女史は大正八年東京女子高等師範學校家事科の優秀出身者である。進んで同校専攻科を修め、東京帝國大學法科に學び、池田知事夫人と同學である。料理の方面に深い興味を持たれ、斯道の大家に學び、多年の經驗を積まれ、和洋兩面に亘つて隱然として大家を以て見られて居る。東京家政學院の要地から昭和三年四月本校に轉じ、現に女子學習院の教壇に立つたる、佐竹、久米、古賀女史の後を承けて學事科の主任となり、又法制經濟科を受持たる。その書を見るに、御飯の炊き方、野菜の切り方、魚の拵へ方といふ様な概説に筆を起して期節十二箇月の料理に及び、繪入で叮嚀に説明し、すぐに献立の基本になる。著者の非凡なる教育的頭腦のひらめきを十分に示して居る。稀に見る良書として世に推薦する。(校長佐藤善治郎)

發行所

東京市麹町區紀尾井町六  
振替東京七一六七〇番

軍事教育會

小學校教員養成學科講習會要項

一 小學校本科正教員養成ノ部

一學科 圖書(三〇時) 體操(五〇時)

一試驗 講習修了ノ際試験ヲ行フ

一期日 十二月二十四日ヨリ同三十日迄 一月四日ヨリ同十日迄

一會場 神奈川縣女子師範學校内

一講師 同校 教諭

一講習員資格 尋常小學校本科正教員ノ資格ヲ有シ現ニ本縣内ノ教職ニ在職セル者

但シ教室ニ余裕アル時ハ在職セザル者モ入會ヲ許スコトアルベシ

一講習料 一人金五圓 開會第一日ニ會場ニテ納付スベシ

一 尋常小學校本科正教員養成ノ部

一學科 音樂(三〇時) 體操(五〇時)

一試驗 講習修了ノ際試験ヲ行フ

一期日 十二月二十四日ヨリ三十日迄 一月四日ヨリ十日迄

一會場 神奈川縣師範學校

一講師 同校 教諭

一講習員資格 小學校准教員若クハ尋常小學校准教員ノ資格ヲ有シ現ニ神奈川縣内ノ  
 教職ニ在ル者  
 但シ教室其他ニ余裕アル時ハ在職セザル者ニテモ入會ヲ許スコトアルベシ

一講習料 一入金四圓開會第一日ニ會場ニテ納付スベシ

申 込 手 續

左記ノ通添付十二月十日迄ニ本會ニ到着スル様申込ムベシ

- 一、入會申込書用紙半紙書式隨意但シ講習種別ヲ記入スルコト
- 二、履歷書用紙半紙書式隨意但シ左ノ各項記入ヲ要ス  
 原籍、現住所、氏名、生年月日  
 學歴、教員資格、現職
- 三、郵便はかき一枚  
 (入會許否ノ返信用ナルヲ以テ返信先宛名ヲ記入シ置クベシ)

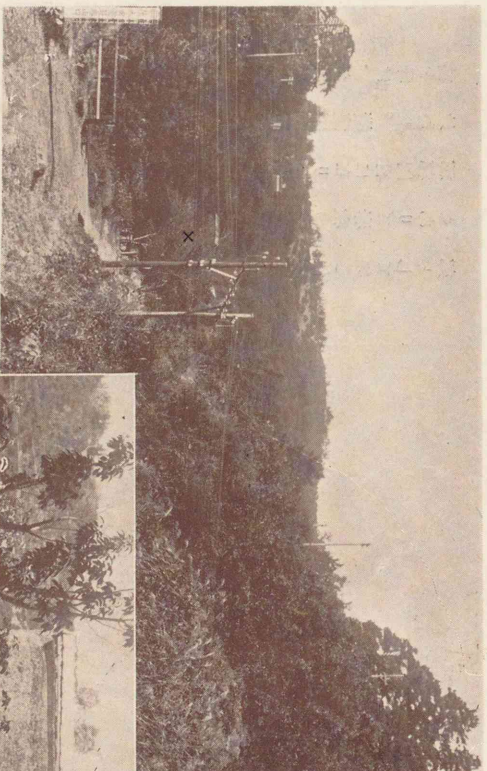
以上

昭和六年十一月

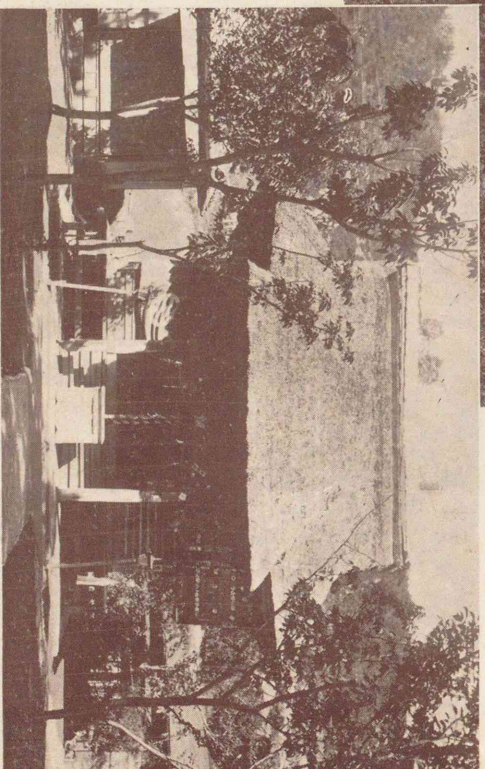
神奈川縣教育會

神奈川縣廳内

吉、中郷、佐那田の住人、佐那田餘一義忠江坂東きつこの剛者なり。保野景久を組付せながらあやまつておのが徳儀に首か入れて無慘の最期を了せしといふ、銀り島。



(印×)島り銀村浦片郡下



(佐那田靈社)

(片浦杉山氏寄贈)

# 歳 晚 辭

歳は逝く！ 歳は逝く！！

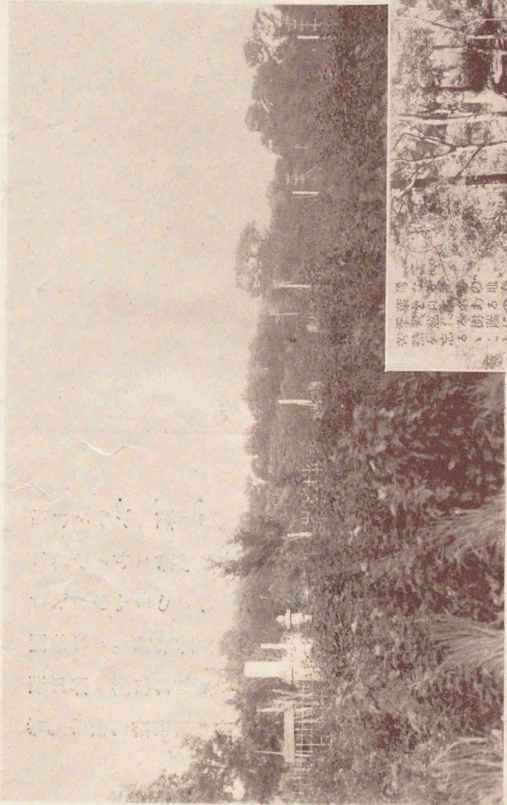
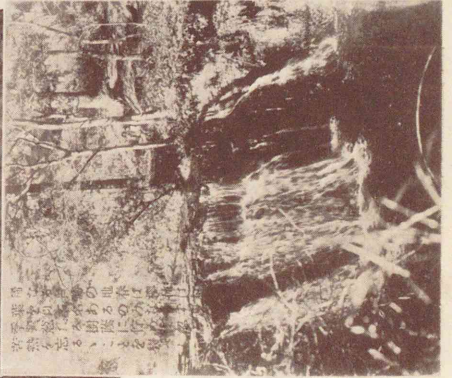
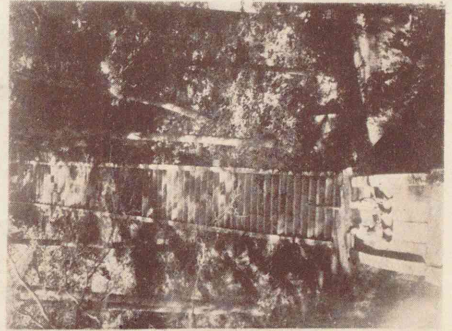
皇紀二千五百九十一年、西歴一千九百三十一年は、今や除夕を數ふるに近く、回想すれば 感慨鬱勃として殆ど内に積むべからず。あゝ歳晚の辭、吾人之を去歳に述べ、之を去々歳に述べたり、年々之を繰返して、今茲も亦此の辭ある恐らくは常套の譏を免れし、而も歳晚は萬事を清算するの時請ふ暫く、吾人常套の語に聽け

上下三千歳の背景の前、世界の太舞臺の上にして、金甌、一系の皇室を戴くの光榮と幸福とを有する日本民族が、何もの、不肖兒ぞ、到る所、勞働爭議は頻出し、反政府聯盟は勃發し、赤化教員は簇出せり、かくて思想淨化の熾烈に叫ばるゝ一面に於いて、生硬危激の思想は漸次醸生するものゝ如し。

一度、眼を轉せんか、紅燈絃歌の巷衢、或はカフェー、或はダンスホール、嬌聲漁色の蕩子の漫りに跳梁跋扈を極むるあれば、蓬頭垢面のルンペン群をなして、霜枯れの寒空に聞き歩みをとぼとぼとはこびつゝあるにあらずや。

さても淺猿ましかりける世のさまかな。

鶴ヶ峰は、名將畠山次郎重忠の靈地なり。樺瀨驛の西北約二里都筑郡都岡村に在り。白根神社の景勝もありて春秋の季節兒童遠足の近郊として頗る佳境なり。



(鶴ヶ峰六ツツ全景)

(都岡白井氏寄贈)

是を思ひ彼を懐ひ、拳々の情に堪えざるの時、年漸く寒く北滿の風雲急を告げ爰に國軍の崛起をみる、鞭を朔風にひるがへして、彼が綠林匪賊の討伐にむかへば、屍を曠野に曝らす武夫の外にあるに、内には街頭革命歌を高唱する不逞兒の横行するあり、然もひとしく是れ祖國同胞の臣民たるを如何せんや。

須らく、世界の輿論に聴くべく、更に彈丸黒子の地、眇たる吾が日本の姿態を諦視せよや。

奈何に可憐にして勇敢比類なき國！

奈何に公正にして雄大なる大和民族！

少時、彼我の主義、主張をさけて祖國の純真なる本義本體を靜憚せよ、その博大なる義心と、惻々たる情熱と、「弘皇孫養正之心」と宣ひし神武創業の皇謨とは、我史跡に炳として歴然たるぞや。

渾圓球上、我が建國の大理想の下に、國際正義の大旗を高く掲げて、一は國際聯盟を睥睨しつゝ、今にして世界人類をリードせんとす。

偉なる哉、帝國の使命！

壯なる哉 民族の抱負！

彼の妖誕妄想を説く、宛然、風前の塵塚、曉陽の淡雪に似たらずや。

噫、世界人類の救世主は、それ東方より來らんか。今、將に來らんずる黎明の新曙光を迎へんとする吾等こそ、眞に世界平和の民なれ。吾等こそ眞に人類剛建の民たれ。

### ○教育者の精神

鎌倉・小坂 諸 石 生投

富貴榮達を求めんと欲するものは宜しく去て他に求むべし教育の業務は必らずしも富貴榮達を得る所以の道にあらざるなり一簞の食一瓢の飲子弟と共に之を飲み之を食ひ喜ぶ時は即ち俱に之を喜び悲む時は則ち共に之を悲しみ敝袍以て吾が心を煩はすに足らず陋巷以て吾が意に介するに足らず心廣く體胖かに徐に後進の成徳達材を待つ天下の樂これより大なるものなし又何をか求めむ

語に曰く富貴も淫すること能はず威力も屈すること能はず此を大丈夫と謂ふと夫れ守ること此の如く確く志すことかれの如く篤きにあらざんば爰ぞよく長へに斯の神聖を維持して俯仰天地に愧ぢざるを得ん

光陰は矢の如く國運は日に新なり吾が頭霜を戴くも吾は學んで厭はざるべく吾が齒既に落つるも吾は誨へて倦まざるべし憤を發して食を忘れて老の將に至らんとするを知らずこれ豈教育者の本領にあらずや（作者不知）

「懐しなの君よ、ふたかへりの昔、君は杜李とその樂みを同うせる風流子にして、また許回の流れを酌める君子なり、曠昔別離の詩賦おさめて今猶管底に秘めたり。

晚秋適々何の詩興やそしりて、斯文を寄せ給へることや。假令、君、自らの作ならじとことかきすとも、

高士の風格は、昔ながらに松柏の節を持って、宛然後園廢籬の菊その香高きを覺ゆるをいかんせん。（YS生）」



# 奮起する者に生命は躍動す

教育會理事 會 根 藤 三

## □勅語を拜して

畏くも 天皇陛下 には客月三十日東京高師六十年記念式に 行幸遊ばされたのみならず、田中文相を召され教育の任に從ふ者に對し優渥なる勅語を下し給つた、教育の淵藪たる高師の記念式に臨幸遊ばされたことが既に深遠なる御聖旨の存するところを恐察せられる上に、恐れ多くも勅語を賜つて「健全ナル國民ノ養成」を綸示あらせられたことは刻下の世相を知る者の恐懼に堪へないところである、而して更に又其の養成が全然「師表タルモノノ徳化ニ俟ツ」と昭示し給はれたことは教育者の何としても感荷に堪へない所である、曩には教育振興に關する御沙汰を下させられ、今又辱くも勅語を賜つて教育に從ふ者の着眼を高論あらせられたことを知る者は、感激奮起深く自ら省みて、修徳研識の功を積み優渥なる聖旨に對へ奉るの覺悟と方策と而して努力とを有たねばならぬ。

## □教育界の驚異

現職訓導が赤化容疑者として取調べを受けたとか、某々教員が教壇上から引張られたとか、頻々として報導せられる事實には統督の責に任ずる校長は勿論、監督當局をはじめ父兄たると否やとに論なく一般に非常な喫驚と不安とを與へつゝある。

從來教育圏内に於ける思想問題については中等以上の學校に喧しく小學校は最も健實性に富む安全地帯として割合に注意から免れて居たものだが、夫れが昨今の様に三府をはじめ、幾つもの縣下に赤化教員を出したと聞くに至つては、如何に左翼化陣營の魔手が深刻を極めつゝあるか判るのみならず、取調、檢舉、起訴、等と表面の問題として取扱はれるに至らないにしても隠れたる細胞として極秘裏に潜行しつゝあるものゝあらんかを想像するときは實に寒心に堪へないでは無いか。

小學校の兒童は中等學校以上の學生生徒と異り極めて純真無垢であり自主的批判能力の尙ほ幼稚であるが爲め、教師の判断や誘導に最も高い權威を感じ一にも二にも受持教師の言動を尊重し之に順應せんことを努める傾向の強い時代にあるのであるから、教師の思想人格が如何に大切であるかと思はれるのみならず、小學校教育は國民の全體が受くべきものであり、而して此の教育だけで打切らるゝ子弟が大多数であることに考へ到つたとき極左運動の侵入が初等教育界に達したと聞くことは實に雄々しき大事であり未曾有の驚異である。

## □強烈な心力

池袋の成蹊學園（私立）に幼稚園、小學校、高等女學校、商業學校、専門學校の系統を立て其の教育經營の創始を爲し實驗心理學、精神物理學の權威として人も吾も許した文學士中村春治氏は會て余に其の經驗の結果として立證し得た次の如き二三の事實を挙げ、教師の人格が實に教育の生命であることをつくづく感じたと話されたことがある。

### ○入學試問

成蹊小學校が優秀な教師の集りであり、公立の小學校に比し經營も研究も自由であり、傳統の殻を脱いだ面白い教育を行つてゐるといふ評判から之を知る父兄は高い授業料も意とせず争つて入學させ遠く市内外から電車で通學させるものも多い、尋一の新入學に希望者は定員の幾倍にも達するので之をすぐるためと學園の教育方針から入學試問に相當する口頭試問を行つて來たが父兄の入學希望は非常な熱で烈しい競争状態である、此の日には家庭に於て實際に教養の任

に當る責任者（普通母）の同行を必要條件として求めてゐる。試問は余が行つた最初二三年間は母と児童とを一所に呼んで種々な試問を行つて選抜したが入學後の成績に比して入學試問の結果特に心意發達の程度が出来過ぎてゐることを見出した、斯んな筈では無かつたと歎聲を漏らすことが多いことから疑を有つたのは試問の際は非入學させて歸らねばと母親の強い心力が傍から働きかけた影響ではあるまいかと言ふことである、そこで翌年から試問に際しては児童を單獨にし母親は別室に控へさせる様にした、其の結果が如何にあるかと興味を以て入學後の児童を観察したところ何等試問の成績と異なることを發見しなかつた。其の後は毎年同様の仕方にして經驗したが全く前の様な不思議を見出すことは無かつた。之は全く入學熱望の母が言葉にこそ發しないが今も唇から漏れさうな表情態度で傍から児童に覆ひかゝり何でも是非正答をなさしめやうとの強烈な心力が焰となつて児童に作用し單なる児童以上の答をなさしめ眞價以上の成績を現はした結果であると確信する。

#### ○教授の際

或る日成蹊高等女學校の國語教授に臨んだ。教材は徒然草の一節であつた、余は全生徒に節意の吟味を命じ、そして中等生と思ふ一生徒を別室に伴つて、あなたは此所で調べて御覽先生が附いてゐて上げるから、必ず判りますよ、と暗示を與へ、側の余は節意を簡約した言葉にまとめ口にこそ出さぬが生徒をして此の意味を答へしめたいと強い心力を此の一生に注いで見添つてゐたところ普通なれば答へ得る生徒で無いのにやがてどうやら近い答を爲すことを得たから學級に歸つて全生徒の答を聞いた、ところが平素遙かに優る生徒でさへ此の一生程の答を爲し得なかつた事を經驗した。之も亦強い心力が言葉を借らず直接に他人に影響作用する例證と認められる。

#### ○或る學級に於ける事實

一昨年新潟縣から招聘した或る訓導の受持ち學級に一種の好ましからぬ傾向が生じた、その傾向は一寸言葉で説明し難いが一種の癖とでも云ふべきものであらう。此の癖に氣付いた余は如何なる原因から此學級に限つてこんな傾向を生じたものかと、私に緻密な觀察や種々な考察を試みたが夫れと思ひ當ることは無かつた。

即ち教師は新潟縣で有數な優秀者で頭腦明晰研究心に富み學殖も充分であるばかりで無く教授上の工夫や圓熟に至つては申分のない手腕の持主であつた、各府縣中から選り選つて高俸で聘しただけであつて誠に得難い優良訓導何處へ出しても立派なものであるから教授上の缺陷より馴致されたものとは思はれない、児童及其の家庭方面について此惡癖の原因となるべき事情が伏在はせぬかと色々の調査や統計を試み考察を廻らして見たが矢張り此の學級の方に特有な事情と見るべきものは見出し得ず従つて根本的改癖の良案も得られず不満足の間學期は進行した。ところが或る時或る動機から此の訓導の人格の内容をなすべき種々な方面の調査を試みる事があつたところ膝を打つて首肯せられる事項を發見した。と云ふのは此訓導は過去に於ける或る境遇及經歷から見えて現代社會に對する一種の強い不平不満を胸中に藏する者であつたのであるけれども幼年の児童に對して不満を訴へる譯でもなければ惡傾向の誘發を試みる譯でも無く何處までも優良の教師であつた。然るに一ヶ年餘りの薰化が側から余の氣付く程の惡癖の傾向を發現するに至つたのは何であるか、言ふまでも無く教師の胸底深く秘められた強烈の心力即ち社會に對する不満が何等傳達方便を借らず頭から頭にと直接反映したに因るものである。此に氣付いた余は早速その訓導を解職し代つて余自らその學級の經營に當ることとし専ら惡傾向の矯正に熱心主力を傾注した、幸に早期に發見したし且つ児童が幼年期に屬するため改善上の効果は著しく擧がつて半年の後には他學級と差異を認めぬまでに行ふことが出来た。

#### □教師の人格が教育を決定する

之等の事實は何を物語るものであるか、非常に強い精神の焰、燃ゆるが如き人格の光は言語文章等傳達機關の中介を須たずして頭から頭、人格から人格へと直接反映し之を焙かし之を焦さずんば止まぬ底の力を有するものであることを證するものであつて不思議の様に見えて決して不思議は無い。

此處が教育の有力なところであり教育の決定が一に教師の人格に歸する原據である。

歪んだ人格、不健全な思想の教師から立派な國民が作られ様とは誰しも考へ得ないところである。

左傾教員として取調を受けた者の中、兒童又は同僚に對し魔手を觸るゝに至つた者は論外であるが、單に自身がマルキストであると云ふだけで未だ兒童に働きかけてゐる形跡は無いと新聞の報導に有るを見て先づ安心と胸の凝りを解く人達も無いではあるまいが、前述の見地に立つて其の影響を考察するときは國法に觸るゝ宣傳煽動の事實なしとするも教育上實際の反映は其の左翼化した當初から否な左翼化するに至つた原因に由つては既に其の時から兒童に好しからぬ反響を及ぼしてゐるとさへ考へられるではないか。

而して此の程度に在る教師の尙ほ教育界に潜在するものが絶無と限られやうか。

警察當局の取締は勢ひ顯著なる事實の存在に限られるのは止むを得ない所であるが教育界としては其れ以内の内在的傾向をも許し難いのであつて徹底的に教師の人格淨化を高唱せねばならないのである。

言ふまでも無く國民教育は、國家が國家の生命を維持存続するばかりでなく更に之を向上繁榮に導き國民の福祉を増進することを目當として其の制度を建て教育内容は勿論、方法の末に至るまで或る程度は其の意志に依つて定め之が運用を自ら採任した校長及教員により行はしめるもので、其の結果の歸着は當初の目的に完全に契合するものであることを要めてゐる。然るに採任を受けて其の任に従ふ者が此間の精神を失つて流行語たる自由の文字を見境もなく職務に取込んで全然無條件に只管自己の意志に任された教育であるかの様に誤解した結果、國家の豫想だもしなかつた放縱な教育に流れたり、或は國民教育の組織及機關が革命思想宣傳の絶好機關と瞰み、之に蝕ひ入ることを唯一の奇貨として宣傳煽動の鋒先をこゝに集中する彼等一味の特異なる戰術に乗せられて自己本來の使命を擲ち小國民を通じて國家社會を毒せんとするものあるに至つては、國家は自ら設けたる機關により知らず識らずの間に自體の破滅を將來するの矛盾に陥る譯である。故に取締法の適用を受くる程度なると否らざるとに論なく此種の徒輩は國民教育の使命を帯ぶる者としては速に其の存在を否定すべきである。

文部省學生部や府縣市當局が對策に腐心しつつあるのは之が爲めであると同時に部下統督の任に在る學校長は勿論、國民教育の重任に當る教員相互に於ても自らの負ふ職責に省みて大に此の問題に關心を有ち謬らざる研究を重ね、誤れる風潮の是正、健全なる思想信念の鼓吹等熾烈なる教師の人格淨化運動を興すことが急務ではあるまいか。

### □ 對策を如何にするか

徒に魔手のタッチを慨き、思想の惡化を怖るるのみは決して時相を救ふの策では無い、宜しく深思熟索して切實なる方案を求め、大同提携して濁思想の流源を塞ぎ流れの末までを清澄ならしむべきである。

方策對案は研究に従つて多種多産であるべきだが今一二の卑見を述べて名案簇出の死馬とする。

### □ 對策の二三

#### ○ 思想研究

思想の解決は思想に由るのが根本方策である。故に思想問題は唯之を畏遠することは解決を導く所以でない。大に我が民族の理想を究明すると共に所謂革命思想の中心をなす根本思想は何であるかを極め且つ之等の思想が胚胎する所以の原因をも考究して我民族の三千年來洗鍊純化せられた大理想に對照し甚しく低劣な質を帯ぶるものであつて如何に宣傳に努むるとも到底我が國民思想の殿堂には其の廂にも取入れ難いものであるのみならず此の大理想の實在としての我が國家組織乃至社會組織とは其の根本に於て相容れざるものであることの認識を明確にし益々神聖民族の理想を展現せしむべきである。

思想研究は如上述最も必要であり且つ根本解決の良法ではあるが、岐路に立つて判斷を誤るときは迷路に踏み入るの危険を伴ふことあるを以て豫め警戒を要するのである。批評能力が薄弱であるばかりで無く、神聖民族の大理想も未だ其の根本を解し得ぬ者が好奇的に或は新らしがりのにと云ふが如きつまらぬ動機からマルキシズムの思想研究に手を染め



て何時かその虜となつてしまつたり、或は岐點に彷徨する間に抜け目無き彼等一味の魔手に招かれて遂に正道に立歸ることの出来ぬ所謂本物となり低劣思想の犠牲に終る例は決して無いとは限られないからである。故に思想研究には自身が先づ以て我が民族に貫流する永久不變の大理想を究め且つ飽くまで冷靜に批評的態度を持續して進むことを要すると共に透徹した研究と確乎たる識見とを有する先覺の士があつて讀物の選別は勿論研究の急所々々を指導することが必要である。

○適當なる誘導

「ミイラ取りがミイラとなる」との諺も一顧の價なしとも言放てまいが故に赤化し易い素質、年齢、境遇、機會等は赤化した教員の事實に歸納して發表した文献もあることだから指導監督の當局は勿論校長及先輩が機に臨み人に應じて親切な而かも透徹した誘導を試みることは部下教員を生かすの途であるばかりでなく一人を救ひ得た効績は教育上實に偉大なるものがあると云はねばなるまい。

故に指導誘掖の立場に在る者は先づ以て自らの深い研究と、固陋に陥らぬ而かも確乎たる識見を有しチャンスを逸す様な迂濶の無いことが必要となつて来る。

さりとて徒に若い教員や、讀書慾研究心に富む者や、不遇な境遇に在る者等に猜疑の眼を以て事毎に監視的に臨むことは決して適當な措置で無いばかりでなく親愛なるべき部下職員に不快の感を抱かしめ却て人を驅つて悪化せしむる動機とならぬとは言へないからである。其の邊の呼吸は職務柄手に入つたものと思ふ。

○思想界の分野に通すること

現今我が國に行はれつゝある思想の分野及之を背景とする政黨、新聞、雜誌、其の他の出版物、研究又は宣傳の團體及其の組織等につき一通りの知識を有することは歩行を健實ならしむる上からは非望ましいことである。殊に教育思潮と思想分野との關係などは明がにして置かないと其の氣でなく左翼系の雜誌を購讀したり、部下を左傾講習會に出席せしめたりする滑稽を演ぜぬ限りは無い。

○極左運動の組織及様式に通すること

共產主義思想の運動に従ふものにも流派があつて各組織を異にし獨特の運動様式を有して居るものであるから教育者は我が國に行はるゝ此の運動の流派、組織、様式及之を背景とする諸種の團體、出版物、主義下に立つ顯著なる人物等について一通りの知識を必要とする。

○教育界に蝕入する慣用手段に通すること

教壇上に於ける彼等の行き方は勿論、學校内外、教育界全體を通じて潜行的に蝕入する一味の慣用戦法とも云はるゝものは特に教育者の研究し置くを必要とする。而して今後に於ける彼等策戰の進轉も亦た不斷の注意を怠るべきでは無い

○當局及一般民人に望む

唯物史觀に提はれて人の社會的存在が思想感情の一切を決定すると考へることに純粋哲學上の問題として大に意見の存することではあらうが事實人は社會生活を離れ難く従て外界の事情が或る程度思想に影響を有つことは實際あり得るものと見ねばなるまい。

そこで單的に言へば教員に對する地位の保障、待遇の充足等社會生活上適當なる安定と相當なる向上の方途とを講ずることは現下緊切の良策と云ふべきである。

他府縣下の話柄として増俸は愚か俸給又は手當の不當なる寄附強要、支拂延滞等の苦々しき事實あるを聞くことは頗る遺憾とすべきである。

本縣下に於ても期限を定めず給與の支拂を延引し爲めに下宿低俸の教員を窮地に置く等の事例は往々耳にするところである。

縣及町村當局は勿論一般民人も深く思を廻らし相提携して教育者の社會生活を保障改善し健全なる思想勃興の側面的助

成に力を致されたい。  
之又此際に於ける對策として見逃すべからざる一要項ではあるまいか。

○人格淨化運動

危険思想に陥るのを消極的に防止するのも有効な對策ではあるが、更に積極的に國體を闡明し帝國の大理想を明徹にし國民的信念に徹した、所謂淨化せられた教師の人格を築くことを目的とし共同淬礪の熱を高め最も振肅した思潮を教育界に漲らし、一二グラついた思想の持主があらうとも、高鳴る巨濤の大勢には抗し得ず、楫を収めて教海を引き揚げるか、然らざれば針路を改め潮流に乗つて進行するかの方途に出でしむるの運動も亦た極めて有力なる方策ではあるまいか。

而して左翼陣が細胞組織に由つて隱密裡に潜行的浸蝕を爲さんとするに對し淨化運動は全體的に有機的關係を保つて正面から整々堂々の陣を張つて進行し、過ぐるところ一草一木も遺すことなく教育の滿野を風靡するに至らしむべきである。

淨化を目的とする講習會、講演會、研究會、發表會、協議會等も方案として擧げられる事項であるが尙ほ他に名案の續出することを待望する。

□要之

共產主義が非常な勢を以て侵入しつゝあると聞知するのみで其の正體をも正視せず其の根本思想に如何にも偉大なる權威を有するかの様に想像するのは大なる誤であつて斯かる感じを有する徒は既に彼等のアジテーションの焰の風に一抹を喰つて居るとも見られる。

所謂マルキシズムの根本思想と云つても別に偉大なるものでも無ければ凄い權威を有するものでも無い。唯最も警戒す

べきは一味の運動特に非法法の行き方であつて、國際的に潜行的細胞組織結成に戰時的強烈の精神を以て常に武裝しつゝ決死的運動を繼續する所に存する。總べて思想は其の内容に偉大なる權威を有するがため廣く且つ速かに傳播流布されると言ふよりは寧ろ之を宣傳する者の精神力の強大が傳播力を強大ならしめて居る場合が多い。非常なる強裂精神は夫れが是であると非であると拘らず古來人を動かし世を靡かした事實は誰人も首肯せらるゝ所であらう。

過激思想を奉ずる運動が所謂インターナショナルに而かも非常なる強烈の精神を以て有らゆる戰術を講じ、國法の禁壓に抗し、巧みに法網の目を潜つて執拗に其の主義の流布擴大に努力する點に其の力の存することを認めると同時に警戒の眼を此に注ぐことが要諦を得たるものであらう。

従つて對策を講ずるに方つては少くとも彼等に劣らざる熱と強さと衆きさを以て臨むべきである。對策の七項に於て熾烈深刻にして而かも全體的有機的なる大運動を要望する所以である。

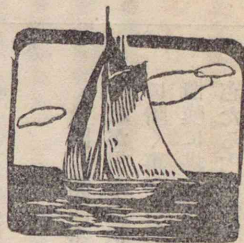
師表たる者の徳化を醇厚ならしむるの途は其の人格の完成を第一義とせねばならぬ、此の見地よりすれば人格淨化運動は今回拜したる聖旨に對へ奉る所以の方途であると信ずる。

滿蒙の現状を訴ふ

南滿洲教育會

今回の滿洲事變は帝國の存亡に關する重大事變である。

之が根本解決は一に國民精神の高潮と一致とに依存すると信ずるものである。然るに滿蒙の實情に暗く事變の真相を知らず認識の不足よりして誤れる觀察を下し冷然對岸の火災視するものあるは慨嘆に堪えざる處である。本會は茲に滿鐵社員會聲明書の趣旨を籍り滿蒙の現状を述べて我等の同志たる内地教育家各位の國民的義憤に訴へんとす。……………(二二頁へ續く)



## 歐洲に於ける新教育運動 (其の一)

子安日大中學部 文學士 山口 幸之助

我が國に於ける中等教育の現状を見るとなほ保守的傾向が強く新教育に對しあまりに冷淡ではないかと思ふ。而して私の考へるところよりするとこの種の傾向は新教育を批判的に研究した結果といふよりもむしろ新教育に對する教育關係者の無關心によるものではないかと思ふ。中等教育に關係せらるゝ方はその専門研究においては堪能であつて昔とは比べものにならないと思つてゐる。しかし廣く人間生活といふ見地に立つて教育を考へることは比較的に少いと思ふ。その結果の一つは各學科はまち／＼になつて中心點を失ひ不統一な知識を頭につめこむといふ形になる。又かくの如くに各學科がその領域を守つて他を犯さざることが謙遜である様にも考へられてゐる。この點は學科擔任制の弊とも思はれるのであつて私は生活活動への統一を欠いた中等教育は完全なものとは云へないと考へてゐる。かゝる前述の謙遜は専門學者の美德であるかも知れないがしかし中等教育はかゝる不統一な教授を許されない。(註)

從來主張された特殊な學科の偏重についても教育者は又大いに考慮すべき必要がある。形式價値の力説及び入學試験への考慮は必要であらう。しかしデモクラチックな中等教育は又生徒の將來の希望及びその生得的能力の點から學科目の整理及び程度の研究が必要である。生徒の生得的能力は教育教授の根元的制約であり個性への考慮と相俟つて教育効果を完全にするものである。又生徒の將來の希望は教育の社會的側面を示すものであつて當然注意せらるべきものである。我國

に於ける中學校施行規則の改正は社會生活、個性への注意、勤勞の尊重、情操陶冶の強調等の新教育思潮の影響によること勿論である。而して私はかゝる見地よりこの改正を積極的改善と考へる。

併しかゝる改善もその教育効果を十分に發揮するためには理解ある教育者の指導が必要である。學習の基礎が自發活動にあるならば我々は眞面目にその根據を研究すべきであらう。創造的表現協同作業の主張は又新教育の強調するところである。

生活陶冶の見地よりすれば課外活動の研究娛樂の向上、スポーツ、更に一般的に云へば閑暇時の有効使用への指導は學校の大切な仕事の一つである。寄宿學校でない限り家庭との聯絡は此の見地よりも必要である。しばし「訓育と云ふことが生徒の感情を抑壓することであり臭いものには蓋主義を以て一貫されてゐるのは頗る遺憾である。消極的に異性と關係カフエー、興行物等を警戒するにあせり、生徒の感情を指導しようとしなは角をためて牛を殺すの類である。必然的傾向の善導こそ訓育の要諦である。修身教授の知識を如實生活に生かし生徒の感情生活をレファインすべきものである。宗教教育による感情の美化も又かゝる見地より説かるゝものである。又異性との關係も盲目的に危険視するよりはむしろ兩者間に眞の理解を生ぜしむべきであらう。一時的抑壓は權威の消滅によつて放恣にかへるものである。この點については男女共學論者の意見を聴くべきである。一時的權威による抑制は必しも効果の永續性を保證しない。試験の外的威嚇は將來の自學研究を保持しない。この點自由教育論の聴くべきものある所以である。

勿論みだりに新を求め、奇を好むべきではない。しかし誤の中にもなほ眞理の精を見出すの態度を以てするならば又新教育みだりに非難すべきではない。かくして我々は中等教育に關して研究すべき問題の多きに驚くものである。

本文は以上の諸點への考慮を以てヨーロッパに於ける新教育運動の概要を紹介しようと思ふ。彼等の努力を知ると共に取つて我々の参考にしようと思ふものである。

(註) 中等教育が單に學科目の相互に於て統一ある有機的連絡を保つといふのみでなく生徒の將來の生活への考慮を

以て統一さるゝ必要については今更論するまでもない。生活關聯に於いて統一された組織的智識が必要なのである。中等教育の目的規定にあたり社會生活の分析乃至活動分析を標準とするのはこの見地に立脚するものでありピーターズ、チャーターズ、ボビット、スネツデンの研究は代表的のものである。この點については東大教育學研究室編輯「教育思潮研究」十月發行の中にのせておいた。

## 一、英國に於ける新教育運動

### A アボッツホルム學校

保守的な英國に於ても新教育運動は仲々盛である。最も有名なる前記の學校の如きは獨、佛等ヨーロッパ諸國に大きな影響を與へてゐる。ドイツのランド、エルチーフングス、ハイムの如きもその影響によるものである。創設者はセシル、レデイ氏である。その目的とするところは創造表現、個別教育、集團活動、協同作業、スポーツ、社會奉仕等であり宗派的色彩を持たない。この學校については雜誌其他でしばしば論ぜられてゐるので詳細を省略する。

### B ビテールス學校

これは寄宿舎學校であつて男女共學制を採つてゐる。ハンプシャーのピーターズフィールドに位置し美しき一二〇エーカーの所有地があり他に十二エーカーの運動場及び八〇エーカーの農園をもつてゐる。現在約二〇〇人の男女學生がゐる。本校の特色の大なるものは第一に男女共學制であつて現校長はバッドレー氏である。彼等の話すところによるとこの學校の目的は次の如くである。即ち本校の目的とするところは男子と同様に女子にも健全なる生活、知的陶冶をあたへんとするものであつて彼等の信ずるところによるとこの制度は兩性共に大いに利益をあたへられてゐる。紳士的な生活は女子にも必要であることは勿論であり、しかも女子の存在はこの健全な生活をすゝめる効果をもつてゐる。又同じ仕事をす

ることによつて結ばれる友情は兩者間に健全な發達を促してゐる。しばしば存在する兩者の誤解障壁は男女共學制によつて除かれる。この様に當事者は考へてゐるのであつて又見學者もかくの如き目的が立派に實現されてゐると報じてゐる。勿論この様な制度を可能にするためには生徒の兩親によつてあたへらるゝ道德的援助が必要である。何となれば兩親の信頼なくしてはかゝる學校は存在し得ないからである。しかしそれと共に校長及び職員<sup>の</sup>立派なる人格と同情的了解とは絶對に必要な要素であらう。本校に於ける學科課程について述べるならば大體十五歳十六歳頃まで一般的な教育が行はれそれ以後において特殊化が行はれるのである。入學試験の準備もやらないのではない。この十六歳頃までの教育には普通學科に藝術技術及び音楽が必修とせられてゐるが、ラテン語ギリシア語は必要のものにだけ授けられる。個人的差違に應ずるためには實驗法が用ひられて居り教室はゲーリト式によつて學科單位である。教師の講義がまるでないわけではないが自學は盛でありダルトン式によつて月々の一割宛<sup>アサメント</sup>によつて勉強をし統合のために二、三の學科を同時に學習することになつてゐる。十六歳以後になると分化が行はれる。そして試験が餘程重要視されてくる。上級においては他の新學校と同様に生徒の自治活動は仲々盛である。又作業も盛であつてなほ一週に二回一時間半づゝ實施されてゐる。形式的宗教教授はやつてゐないが、毎日バイブルを讀んだり讚美歌をうたふことはやつてゐる。この學校のモットーとするところは「萬人の幸福のための各人の仕事」といふことである。

### C セント、クリストファー學校

ハートフォードシャーのレッツウオースに位置してゐる。神智學協會の設立によるものであつて最初の管理者はエンサー夫人とキング嬢であつた。その目的は生徒の生得的能力の發揮に努め卒業後に於ける自學自習の風を養ふにある。故にこの見地より生徒が生涯繼續し得るであらう傾向特性の發見につとめる。

大體十五歳までの教育は一般的であり分化はそれ以後においてなされる。美術、技藝は他の新學校と同様強調され又現代外國語の教授は重視さるゝ。又學習のために生徒は交換或は旅行の形でしばしば外國へ送らるゝ。教授はダルトン案に

よつており生徒は自由になすべきことを選ぶ。學校の自治は又よく行はれてゐる。校舎は低いコンクリート作りであつて附近に美しい庭園があり、それにつづいて大きい劇場がある。此處で市民と生徒との會合が行はるゝのである。教室は小さいが庭に面しており明るい。寄宿生のために二棟の建物がある。而して男女學生は同一の棟の下に生活する。生徒は校長のところにも住みこんでゐる。そして民會ムニシパリティを時々ひらく小さい禮拜堂はあるが禮拜は全く自由で食事は菜食主義によつてゐる。

#### D フレンスハム、ハイツの學校

前述エンサー夫人はフレンスハム、ハイツに新學校を建設した。美しい約八〇エーカーの土地をもつてゐる。その中に大きい邸宅と馬小屋とがあつたのであつたが現在ではそれが教室と實驗室とにかへられた。こゝでエンサーとその共同者キングとが彼等の經驗にもとづいて新教育を始めたのである。いまだ定つた方針によるといふのではなく全く實驗學校である。共同仕事、共同遊戯、共同自治、手工、美術を通しての創造的自已表現、社會奉仕、ダルトン案による個別教育すべて取り入れられ實施されてゐる。學科課程は年少者の教育より中等教育に及ぶ。生徒を小分團に分ち各分團は忠告者を中心として勉強もしてゐる。宗派による教育はない。旅行は盛で毎年英國各地及び大陸になされてゐる。軍事教育はしないこの學校はなほ練習學校であり、その組織についても規定的なる案があるわけではない。まだ創立日も淺く卒業者も極く少い。しかし新教育に經驗ある人達によつて設立されたのであるからその結果は衆望を擔つてゐる。現校長はポール、ロバーツ氏で實驗學校として當分はすゝむであらうと思ふ。

### 二、ドイツに於ける新教育運動

新教育は從來の教育の靜的なのに對して動的であり生徒をしてあくまでその教育の中心とし學校社會の一員として活動せしめる。又成長、活動表現の自由を主張し創造的構成的能力を養成せしめんとする。大亂後のドイツの學校組織は統一不満の點多く各所に新教育を表標する學校が建設せられてゐる。而してこの新學校の先端を切つてゐるのがランドエルチーフングスハイムである。

#### A ランド、エルチーフングス、ハイム

本校の創設者はドクトル、ヘルマン、リーツであつて元來ヘルバルト派のラインの教を受けた人であるが英國のアボツツホルムの學校を模範として新學校を創設してゐるのである。この種の學校は現在六校を數へてゐるがすべて盛である。殊にエツテルブルグ、及びビーベルシュタインの二校は舊城の一部を利用して風景絶佳である。他の新學校と大體によつてゐるのであり又有名であるだけに多く紹介されてゐるものである。下級には男女共學をやつてゐるところもある。生徒は困難なる手工、作業を一週間四日だけ午後二時間づゝ行ふ。残りの二日の午後は自由にあそぶことになつてゐる。六時起床、一哩の競争をやり、それから朝食を取る。一年に一回すべてのリーツ學校の生徒はエツテンベルグに會し競技大會を開催することになつてゐる。勉強は午前中に行ふのみである。音楽は聲學樂器音樂共に仲々盛である。

#### B スクールファーム、シャルフェンベルヒ

大亂後出來た學校である。ベルリン市の補助を受けてゐるのであつて、ベルリン郊外テーゲル湖中の一小島中にある。全面積は一〇〇エーカー位である。この島にはかつてアレキサンダー、フォン、フンボルトの屋敷があつたのであつて風光明眉であり、渡船は生徒によつて行はれてゐる。生徒は十五歳から十八歳までの者約五十人で全き意味で社會生活を行つてゐる。作業は盛で農業も行ひ又美術陶冶もうけ、大學への準備教育も行つてゐる。建物は至つて粗末で大體生徒の修繕によるもの又は生徒の手に成つたものであり島の所々に散在してゐる。生活は地味で素朴主義に依り、公共善のために盡す様努力してゐる。この種の陶冶が友愛の徳を養ひ本校の特色の一つを成してゐるのである。生徒は毎週一回午後二

時から七時まで農場その他のところで作業に従事する。この作業は自由選擇を許す。しかし更に他の日の午後は大體二時間位必修の作業を課せられる。その他炊事洗濯があり、遊ぶ時間は毎日半時間位である。但し毎週一回だけ午後を全く遊び時間に用ひることが出来る。又此學校には一人の實行委員をふくむ會議がある。而して各生徒はすべて平等の權利を以て學校の仕事に關係する。毎週一回夜に會合がひらかれるのであつて學校に關する一切の事は教師生徒が合同で討論するこの際の記録は大きな帳面に書かれ參觀者の閱覽に供する。本校に於ける唯一の罰はかゝる會議に關係する權利を中止することである。教授においては學級を編成しないのであつて分化された課程において勉強する。

又一週間の相當期間の間ある仕事にのみ熱中することが出来る。言語週間、文化週間、科學週間、數學週間の如きものである。他の學校と同様音楽と美術とは重視されてゐる。

### C オーデンワルド學校

六歳から二十歳までの男女學生が大家族、式生活を行ふ。設立者はドクトル、ゲヘーブである。この學校には尊敬的となる五人の天才がある。ゲーテ、ヘルデル、シルレル、ファイヒテ、ウイルヘルム、フォン、フンボルトである。これらの五人の天才を中心として五つの活動室があり、それ／＼天才の名前を以て呼ばれてゐる。天才の誕生日には各室において御祝をする。即ちかゝる施設はこれらの天才の無言の影響が考へられてゐるのである。組織は前述の如く大家族主義であるが更にそれは小家族に分れ、この小家族はそれ自身で單位を成してゐる。その人数は教師生徒あわせて約二十名で教育は社會奉仕の念を養ひ責任觀を陶冶することを大切の仕事とする。自治はよく行はれてゐる。教師と生徒は一堂に會し若きも青年も同様の投票權を持ち學校長と雖も彼れの優れたる經驗知識の影響に於いてのみ支配するものである。教授はダルトン案の如く生徒と教師との相談の上一ヶ月の勉強を定める。但し一ヶ月間に二科目以上の主學科を選ぶことは許されない。月末には研究發表がある。この様な組織であるから定つて級教室といふものはない。各教室は仕事部屋であり

小さい博物館であり又實驗室でもある。作業は盛で大工その他手工業製本、仕立、料理美術作業等すべて行はれてゐる。しかし又別に理論を研究する課程もあつて同様の價值をあたへられてゐる。宗教についていへば宗派的色彩は全くなく民族上の區別もしてゐないこの點注目に價する。

### D ハンブルグ學校

一九一九年以來ハンブルグにおいて遂次新學校が建設されてゐる。ドイツの中で最も新教育の聲高きところである。最初の建設のときには經濟的見地より不利の立場にあつたのであつたが、人々はデモクラチックな社會に有用なる人間を作るべき必要を痛感してついに建設したものである。最初二つの實驗學校が作られ後に四つになつたのである。此等の學校教育の中心理念は社會意識の自覺である。仕事は可能なる限り獨立でやる。そして社會全體のために奉仕するのであつて相互扶助が教へらるゝのである。生徒の取扱は彼等自身の性質の法則によつてなさるゝ。而して教育標準は従前のレベルを下ることはない。學校と父兄會とは密に連絡をとつてゐるのであつて彼等の主張する本校の教育目的は次の如くである。

男女共學

自己及び他人に對する責任にもとづく訓練

教師生徒間の友情

自己信頼と相互扶助への教育

隣人愛、國際愛への教育

特に宗教々授をせざる宗教、道德教育

性教育及アルコール問題への考慮

觀察實驗にもとずく實科レナリトモの教授

讀書算の新しい教育

學校旅行

音樂教育

人格の表現としての言語身體陶冶

兩親との積極的共同である。

元來ハンブルグの新學校は初等教育に關係してゐたのであるが現在では中等教育にも及び次にのべるリヒトワルク學校は現代ドイツの中等學校のトップを切つてゐるものゝ一つである。

### E リヒトワルク學校

この學校は從來の學校の如く知識の注入を目的とせず活動教育が中心である。

生徒は彼等自身の努力を通して責任の念を養ひ獨立判斷への自信をあたへられる。丁度ドイツ高等學校ハイブルグの型に類似してゐるのであつて、その教育中心は公民的文化人を養成するにある。自然科學、美術、手工、を重視すること他の新學校と同じである。又學科目間の連絡のためには數種の學科が一人の教師によつて取扱はれてゐる。課程の分化はないが仕事は組織的に協同的に統一さるゝ。現在よりも將來に考慮し個人の能力に應じて成長せしむる故に規定されたる、ゴールはない。手工は毎日課せられ音樂體操又重視さるゝ。現在約男女生徒併せて六〇〇である。又ハンブルク學校組織の特色の一つはスクールホームである。スクールホームは田舎とか海岸に作られてある別荘の様なもので生徒は各夏四週間そこへ行くのである。その目的は教育的娛樂的のものである。生徒は勉強をし健康を養ひ遊戯をする。スクールホームの數は現在一二七ヶ所にあり兩親の補助をうけてゐる。

最後にハンブルグに於ける學校建築について述べるならば最近大計畫をたて、すべての學校を統一しようとしてゐることは注目に價する建物も一人の技師によつて統一的に形割され學校間の連絡を忘れない。ある一學校は病院式の建物をもつて居り近所のすべての學校と連絡を取つてゐる。

大體以上においてドイツ新學校運動の概略をのべたのであるがドイツの學校全體についてスポーツのことを附述しようと思ふ。元來ドイツにおいてはアメリカ、英國の如くスポーツは盛ではなかつたのであるが現今では仲々盛にやつてゐる。ウィツケルスドルフの學校ではオートーベルツェルが關係して競技をすゝめてゐる。スポーツの價値が強調されポイントなども面目を一新してゐる様である。水の近くの學校では大體ポイント部をもちコンラディン、ブリンクマンの如きはポイントポイントは英米よりも盛であるといつてゐる。このことは數字の上からも明である。

さて以上のべたところから新學校運動の目標を一言にてのべるならば適當なる環境をあたへ創造能力の十分なる而して自由なる發展をなさしめ個人及び現代社會の必要に教育過程を修正し學校社會を通して社會的公民的責任の觀念を養はんとするにあるものである。この目標は、統一學校運動の目標たる教育の平等と國民的教育向上の理念と相俟つてドイツ教育界を生氣あるものたらしめてゐるのである。(第二節完)

### 我國は滿蒙に於て何を爲したか

滿蒙の地は二十數年前迄目するに磽确不毛の邊土を以てせられた。我國之が開發に當り十七億の巨資を投下し、我文化的施設と經濟的援助とを此に加ふるや、其土地は保全せられ鐵道は通じ礦山は開かれ工業は興り、漠々たる荒野は穰々たる良畝と化し、近來支那移民の此地に蝟集する者年々數十萬、二十年にして人口増加約一千萬、我國人の來住する者又一百萬、茲に諸民族共存の一大樂土を現出した。之を貿易に見るに日露戰役前年額僅かに五千八百萬兩に過ぎざりしもの、昭和二年には六億七千萬圓となり支那總貿易額の三割五分を占むるの優勢を示し、今や支那全土中最も富める地方となつた。而して支那軍閥の搾取あり且つ關東州内並に滿鐵沿線以外の地に於けるその治安の維持十分ならざるに拘はず滿蒙三千萬の民衆は支那何れの地方にも増してその慶福を享受しつゝある。これ全く我拮据經營の賜にして、所謂日支共存共榮が口頭禪に非ずして眼前の大事實たる證左である。(1931年版英文第二次滿洲報告書を見よ)……………(五五頁(續))



# 如何に兒童の文を觀るべきか (其の一)

愛甲・煤ヶ谷 杉山 澁

私はこゝに如何に兒童の文を觀るべきであるかといふことを私の受持つ、兒童の實際文を例にとつて、少しく述べてみたいと思ふが、個々の例について、述べる前に、一般的に私は兒童文を如何に觀、如何なる考のもとに取扱つてゐるかといふことから述べてみたいと思ふ。

先づ、いゝ文とはどんな文であるか。私は之を大體三つの要素のもとに考へてゐる。

- 1 天眞の吐露されたありのまゝの文
- 2 内容豊富な文
- 3 わかり易く書けた文

文章を觀る上に最も重要なことは、何といつても、天眞の吐露された眞實味の溢れたありのまゝの文であるか否か

といふことである。これが文章觀としての最重要な事柄であつて、この要求にかなつた文は、自然次の要素をもつことになる。即ち

- 1 實感が如實に表現されてゐる。――眞實味
- 2 個性がはつきりと表現されてゐる。
- 3 あるがまゝの人間性がでゝゐる。
- 4 子供らしさがあらはれてゐる。

實際天眞を欠いた、ありのまゝからはなれたやうな文は、どんなに形の上の調整といふことがあつても、何となく空疎な感じのするものである。そこには實感がなく、個性は死んで居り、人間性も子供らしさも、はつきりとはしてこない。それ故に私たちは、兒童の文をして努めて、(1)にかなふやうに導いてゆかねばならぬ。

次に内容の豊富と分り易いといふことであるが、内容の豊富なほど優れた文であり、分り易く平明に書けた文が、意味を解し兼ねる文よりも、優れてゐることは、言ふ迄もない。たゞ分り易く書かせることは、割合容易であるが、内容の豊富な作品に迄、導くことは仲々困難なことのやうに思はれる。これは兒童の素質と、環境といふ方面にも、多分の關係をもつことであり、文藝的素質の豊かな者、比較的課外の讀書等も出来る境遇にある者は、自然内容の豊かな文を作ることが出来るし、文藝的素質に乏しい兒童とか、一般に感受性の乏しい兒童には、豊かな内容の盛られた文は出来難いものである。であるから私は(1)と(3)に至つては常にやかましく要求するが、これだけは文藝的素質に乏しければ乏しいなりに、感受性乏しければ亦そのやうに、どうにでもありのまゝに表現し、分り易くも書けるものであるからして(2)に至つては餘り無理強ひをしないことにしてゐる。勿論少しでも、内容豊富な作品が出来るやうに努めてはゐるが、内容豊富といふことを眞向からふりかざして、兒童の素質も環境もかへりみず、内容空疎な文を直ちに價値なきものとして、見棄てしまふやうなことを

はしないつもりである。其の兒童の能力環境の上に立つて能力のすぐれた者はすぐれたものゝやうに、すぐれざる者は、亦すぐれざる者として、各その分に應じて、少しづつでも其の素質を活かし、伸ばしてやることにしたいと考へてゐる。由來高い理想のみに眼が注がれるときは、平凡な實際がおろそかにされ勝ちであり、吾々は實際の教授に當つて、内容貧弱な文に随分接するものである。又同一人について考へても、五回が五回、いつも内容豊富な文が出来るものでないことは、俳聖芭蕉の句に於てさへ、その十が十全部が優れた句であるとは言ひ難く、十中の二、三は、随分平凡なものもあるのと同じである。要は綴方に於ても單に文章の上達といふことのみ、意をおくべきものではなく、綴方を通じて、人間性の陶冶をなすといふ所に意を用ふれば足りるのである。

尙綴方に於てよく言はれる新味といふことについても私は一般的に新味があるとか、平凡だとかいふことをさげたいと思つてゐる。あきる程澤山に書かれてゐるやうな事柄であつても、作者の經驗さへ新しいならば、夫はどこ迄も獨創性をもつものといへる。他の何百人が今迄に同じ經驗



について書いてゐやうとも、作者が眞に自らの新しい経験から綴つたものであるならば、決して平凡として、評價するに及ばない。綴方はかくの如く多分に個人性に徹した観方に立脚しなければならぬと思ふ。併し實際指導の経験からいへば、始めに擧げた三つの要素の中の第一項に徹しさえすれば、其の文中どこかに新味、獨創味の溢れた生々とした作品が出来るものである。

私はこんな着眼のもとに、私の受持つ兒童の實際の文例についてその觀方を述べてみやうと思ふ。さういふわけであるから、次の文例も模範的なもののみを擧げやうとはしないつもりである。否模範的な文は實際仲々出来難く、不備な欠陥の多いものを常に取扱つてゐるわけで、その満されぬものの中に、或ものを見出し、兒童に或ものをつかませ、一步一步、完成の域に進むやう努力する所に向上があり、進歩があるものと思ふのである。

次に私の實際扱つた文例を幾つかに分類して述べてみる。勿論分類したとはいふものゝそれは便宜上のことであつて、實際には、一文中に各要素が混在してゐることは言ふまでもない。

(一) 子供らしさが赤裸々にあらはれてゐる文例

○ ビスケツト  
女六 三 子  
學校から歸つて

「只今」  
と言つたがいつものお母さんの聲がしません。不思議に思つて、座敷へ上つてみると、弟は座敷の眞中にくねんと立つてゐた。

私はすぐ

「お母さんはどこへ行つたか知らない」

と言ふと弟は

「僕は知らない」と答へた。そして弟が私を手でまねいたので、行つてみると、弟はそこにあつた菓子箱をとつて、

「みつちゃん、これなに、さつき僕が遊んで歸つて見たら、こんな箱がこゝにあつたよ。」

と言つたので、箱のへりを見ると、ビスケツトと赤い紙に書いてあつた。

私が「ビスケツトだ。お菓子だよ」と言ふと、弟はすぐさま一つとつて、むしや／＼と食べた。私も食べた

なつたので一つとつた。弟は又とつた。二人は競争して食べた。この様にいも一つ、いも一つ、といつて、むしや／＼と食べたが、ふと氣がついてみると、大分食べてしまつた。弟にもうなくなるといけないから食べまいといつたが、弟は「もう一つ」と言つて、口の中にほろりこむやうにして食べた。そこへ下駄の音が聞えてきたので私は大急で箱のふたをしながら弟に目で合圖をした。下駄の音が家の前でとまつて、お母さんは歸つて來られた。私はお母さんに見つけられねばよいがと、心の中で祈つてゐると、お母さんは箱の方へは行かれなかつたのでほつと安心しました。

おこりたくても、おこれない様な如實な子供らしい生活が躍如としてゐる。お母さんの留守に弟と二人でビスケツトを食べてしまつた。これを修身的道徳的にいやな解釋を施したくない。これが天真の子供の相である。尋常六年生としての伸びやかな心の育ちは、この文に如實に表現されてゐる通りで少しも差支へない。子供に虚偽の衣を着せてはいけない。人は眞實であるがよい。眞實であることが貴いふと氣がついてみると大分食べてしまつた。私は大急ぎ

で箱のふたをしながら弟に目で合圖をした。といふあたりは、その時の情景がまのあたり見えるやうな氣がする。お母さんが箱の方へ行かれないでよかつたといふ安らかな安心さ。實に子供らしさを思ふ存分に吐露して残す所もない。ビスケツトといふ題のつけ方。これも適切であらう。

○ 魚 す く ひ 六男 洋

この間のことである。僕は外へ出て向ふの山を見るとふと考へついたのは、昨夜の雨の事である。昨夜あんなに降つたから、きつと川の水が多くなつたに違ひない。水が多くなると、川の魚は端によつてゐると思つたから僕はすぐ弟を呼びよせて、小さな聲で、

「お母さんに見つからないやうにさるを持つて來い」

と言つた。すると弟は

「お、今持つてくらあ」

といつて家の中へかけて行つた。僕は又そつと弟を呼びよせて、小さな聲で

「馬鹿なぜ、でつかい聲で言ふだあ、さつきそつと、持つてこいと持つたじやないか。」

と言つて、今度はそつと持つてこらせた。そしてバケ

ツを弟に持たせて、自分はざるを持つて、どん／＼と川の方へかけて行つた。やがて井戸坂にさしかゝつた僕は弟を後にして、どん／＼とかけて行つた。やがて川にさしかゝると、そばの堀のきれいな水を汲ませた僕は川の中にはいたら、すぐざるを下にかけて、少し上の方を右足で、さぶ／＼と追つて、ざるをあげてみると、それでもかなり大きいかいりが、二匹一度にすくへた。

そして今度はその下をやつてみると、はやめつこが一匹其の次には、はやめつこが二匹とれた。その次は、次は、と十一度やつてみたが、かいろばかり十四匹きりとれなかつたので、左のはしをやつてみやうと思つて、橋を渡り、左のはしをやつてみたら、うぐいとうなぎの小さいのが一度にすくへた。それから幾度もやつてみたが、少しもとれないので、全部で十八匹とつて家へ歸つた。

あるがまゝの子供の生活が赤裸々に表現されてゐる文である。私はこうした文に接すると、心中ほゝえみを禁じ得ない。まことに子供らしい子供である。文は人なりと言はん

か、この子の心持がそのままに直ちにこの文である。

小さな聲で、お母さんに見つからぬやうにそつと持つてこい。なぜでつかい聲で言ふだあ、さつきそつと持つてこいと言つたじやないかは、まことに、にくげもない子供らしさではないか。吾々が少年時代を顧る時に、全くこの子と同じ道を歩つて来たことを思ふ時、偽りなき眞實のこの表現に對して敬意を表せずにはゐられない。眞實程貴いものはない。眞實は強き力である。この眞實をつかむことが實に生きた綴方なのである。

縦線の箇所は訂正せしむべき所。その次は次はとは一寸變であるが子供らしい表現として、そのまゝでよいと思ふ。

添削はなるべく少くした方が文の生命を失はないといふ見地から、文の言ひまはしなどに、大人から見ても變に感ずる所もあるが敢て子供らしさのまゝにして置く。

○けんか 六女 玉 枝

ある日の事であつた。

私が學校から歸つてみると妹は縁側に腰をかけて、一生けん命になつてごろげを敷へてゐる。私は面白くなつたので、わざと「一つ、三つ、五つ、九つ、六つ、

十二、二つ、十六」などと言つて妹のじやまをした。

すると妹はおこつて、「くれるもんか」と言つた。

私はごろげを食べたくて食べたたくて、たまらないので一つくれといつた。すると妹はいやだといつて首をふつてゐる。私はくやしうてたまらないので思はず。

「雪江のしやんぼう」と言つたすると妹はおこつて「なんだ馬鹿野郎、くれるもんか」といつておこつた。

私は又「雪江のしやんぼう柿の種」などと言ひ又「雪江のあぼだらおきやう」など、さん／＼に妹の悪口を言つた。

すると妹はお母さんに言つてくるといつて、座敷の方へ行つたが、お母さんはゐられなかつたので、妹はがっかりしたやうな顔をして、又來た。

私は又「そらい／＼きびだ」と言ふと妹は棒を持つてきて、段々と私の方へ近づいてくるので、私はたまらなくなつたので、すぐ様逃げだした。庭を何邊もかけまはつてゐる中に、お母さんが來られた。すると妹はすぐ様お母さんの側へ行つて、私の言つたことを言ひつけてしまつた、するとお母さんは私に向つて「大きい者が小さい者をかまつてはいけない」などと其の外も色々と言ひきかされた。

私はその時程身にしみた時はなかつた。

私は其の夜妹と口をきかなかつた。

明日になつても口をきくまいと思つてゐたが、やつぱり口をきかないわけにはいかない。

又仲よくなつてしまひました。

人間性と子供らしさの横溢した、しかも生活が如實に表現された文ではあるまいが、少しの偽もない。赤裸々である率直であるこれではなくてはいけない。

兄弟げんかは修身などで説くのが第一間違ひきつてゐる。お互が小さい時は、さんざやつてきたのである。それも親しみ深いがためのけんかにすぎない。大人のするけんかはちがふ。夫婦げんかは何とか、ともいふが子供の時の兄弟げんかは子供の成長の過程としてなくてはならぬものにこそ。

「明日になつても口をきくまいと思つてゐたが、やつぱり口をきかないわけにはいかない。又仲よくなつてしまひました」

はけんか等の場合に於ける人間心理を如實に表現して、さすがに子供だけに、偽りない告白を平氣で述べてゐる。母の教訓に絶対服従する所、修身的價值もそこにあるであらう。

縦線は訂正を要すべき箇所。(つゞく)



# 各學年經營の努力點 (其の四)

橋樹郡・高津校 小林 錠 太郎

## 第六 よき郷土人への尋六の經營

この一年間で義務教育を了へ多數の者は實社會へ乗り出して行くところの尋六の經營は、先づ尋常科としての最高學年であり、義務教育完了の年であることを教師も児童も自覺して、よき郷土民、よき國民たる基礎をかためることに努めなくてはならない。

「六年間學校に行つて何を得て來たのか。」

と言ふ様な言葉はしばしば吾々の聞かされるものである。

教育實際の任に當つてゐる者として、之に對して決然と抗議し得ないものを多分に認めなければならぬと言ふことは、眞に歎けかほしい極みではないか。

本學年の經營に當るものは、卒業證書を、よき郷土人、よき國民にして更によき文化人であることの證明書とする

の意氣込を持つて立たなければならぬと信じてゐる。

### (一) 尋六兒童の心理傾向

- 1 事物の性質を分析して精密に觀察する様になる。
- 2 社會的活動の傾向發達し、男子の遊戯は競技、漁獵の如き戶外運動に轉換する。
- 3 英雄、史傳に對する興味勃興する。
- 4 自己内省の力が進み、その思想は著しく廣く且、深くなる。
- 5 貧弱乍ら自己一個の見識を立て、個性的に社會現象や、他人を批判的に眺めて來る様になる。
- 6 模倣の域を次第に脱して、創造生活により深く入つて來る。
- 7 想像的生活より實感の現實生活的傾向が著しく現はれ

て來る。

8 男女の性別が著しくなり、女兒にあつては特に感情的色彩が濃厚となる。

9 其他研究心の旺盛、合理的な行爲の傾向等尋五に擧げた多くを、この學年でも擧げることが出来る。

### (二) 尋六の特異點

- 1 義務教育完了の年である。過去五ヶ年の指導の總整理をして、國民教育の基礎をかためる重大な使命を持つ學年である。
- 2 尋常小學校としての最高學年である。すべての方面に學校の代表として、又は尋常科の代表として活躍する年である。自分達は全校を代表し、又下級生の模範とならなければと言ふ責任とそれに伴ふ自重とが、かなりの難事をも空破させる。
- 3 上級學校志望者もあるし、この學年だけで社會に出る兒童もあると言ふ様に、一年後には種々の方向に分れる兒童を含んでゐる。各兒童を満足させなければならぬ立場にある。

### (三) 尋六經營の綱領

- 1 義務教育完了の年であることを常に念頭に置いて、よき郷土民、よき文化的國民たるの基礎をかためる。よき日本人とは次の様な要件の備つた者であると思ふ。
- A 國家皇室に對する正しい理解を持つてゐること。
- B 自治自律的であること。
- C 強健なる身體の所有者であること。
- D 自發的、發展的な人間であること。
- E 協同的な社會的な精神を持つてゐること。
- F 明るい性格を持つてゐること。
- G 職業に就いての自覺をもつてゐること。

- H 不屈の精神を持つて事に當る人であること。
- I 實力の十分備つてゐること。
- J 自己を知り、しかもうるほひのある人であること。
- K 郷土に對する理解と、愛着とを持つ人であること。
- 2 すべてを自治自律的に行はしめること。
- 3 學校生活に親しみのある思ひ出を持たしめる様考慮すること。
- 4 全校の代表としての責任と、自覺とを持たしめる。
- 5 上級學校入學者の爲に他生を犠牲にしない様注意すること。
- 6 職業陶冶につとめること。
- 7 系統的、總括的な指導を特に考慮する。
- 8 各個性を十分發揮する様につとめる。
- 9 郷土調査、郷土研究等により郷土の理解を一層深めると共に、郷土民としての覺悟をかためさせる。
- 10 卒業學年としては特に家庭との聯絡を緊密にして、卒業後を豫想しての指導を遺憾なく行はしめる。
- 11 其他環境の整理、性別の考慮等尋五の項に擧げた事項はこの學年に於ても同様である。

(四) よき郷土人への指導

小學校は國民教育の本旨に基いて忠良なる國民を作ると共に、よき郷土民をつくることに努めなくてはならない。よき郷土民によるよき郷土の建設は、必然的に國家興隆の源をなすこととなる。

- 1 自己の自覺への教育
    - A 自己の能力、職務と言ふものを正しく自覺してそれに對して忠實である様な習性をつくること、同時に吾々の生きる目標は高位高官につくこと、又は財寶を多く獲得することではなくて、自己の職務に忠實であることに歸着する所以をよく理解させる。
    - 2 職業に就いての陶冶を行ひ、各職業の特異性を理解せしめると共に自己の職業に専念するところの意志の基礎陶冶をはかる。
      - A 將來の方向決定についての指導、
      - A 職業に就いての理解を興へる。
- 現在の職業の種別、その概念、及び職業に貴賤高下のないこと。
- 各職業に適する性能、職業の將來等、特に生産事業の

- B 尊さについて理解を深めてやること。
- B 工場、作業場其他の參觀、
- C 兒童の希望調査、
- D 父兄との懇談、
- E 家庭調査。
- E 家産、生活程度、職業、家長の意見等。
- F 兒童調査
- F 學力、各種の能力、體力、操行、兒童の意見等。
- G 就職についての努力。
- B 職業訓練
  - 休暇等を利用して實地に職業について習練する。
  - 商店、工場等に出ないとしても各家庭に於て手傳ひをなさしめて職業に對する體驗を深めさせる。
  - なほ郷土の職業調査等を兒童の手を通して行はしめ度

3 郷土の理解

A 郷土調査(要點)

- 一、土地—位置、境界、地勢、地味、地質、氣候、氣象等
- 二、人文—部落別、人口、戸數、増減、密度、職業別等

4 郷土への愛着、

理解を持たせることが第一ではあるが、なほ次の様な事項に注意する必要がある。

- 三、歴史—沿革、偉人、徳行者、傳説、口碑、名所、神社(祭神、由緒、寶物等)古墳、城址等
  - 四、理科—動植物、礦物、科學應用器械器具の所在等
  - 五、生業—職業(種類、從業者、狀況)、副業、生産物、品質、産額、純益、販賣狀況等
  - 六、交通—道路、鐵道、橋梁、貨物、運送郵便、電信等
  - 七、道德—風俗、習慣、言語、犯罪者、儀式、休日、勤勞狀態等
  - 八、經濟—郷土經濟、一家平均生産消費狀況、勞働可能者金融狀態等
  - 九、健康—地方病、衛生狀況、老人數、死亡率、徴兵検査成績等
  - 十、行政—町村行政一斑
- これ等の諸項目の全部とはいかなくとも、出来る限り調査、踏査、研究を行はしめて郷土への理解を深める。
- 學校としてはこれ等の項目について調査研究を遂げ、しかも變動あるものはその都度補正する様心掛けなければならぬ。

- a 郷土の行事時事に即した指導。
  - b 道路愛護についての作業。
  - c 郷土の特質理解(他町村との比較)。
  - d 神社参拜、神社清掃。
  - e 生きた教材を郷土の中に求めること。
  - f 學校圖書館の設立とその利用。
  - g 郷土の將來についての考察等。
  - 5 公民的、國民的な指導訓練。
  - a 教科書中に含まれたこの種教材の徹底。
  - b 役場、警察署其他官公署の見學。
  - c 自治的な訓練。
- 尋五の項に擧げた以外に、この學年として各部落役員としての活動、部落自治會、部落學藝會等による自治訓練を行ふ。
- 6 これが最後だと言ふ緊張感の持続と、學校代表としてのよき學校を作ると言ふ自重や努力が、將來よき郷土を作る郷土人としての希望と努力に發展する様心掛けることが大切である。
  - a 學校の諸役員として活動させる。

- b 反省の機會を多くして改善進歩を計らせる。
  - c 中心人物の善導による級風、校風の振興。
  - 7 生産的、作業的指導。
  - a 栽培、收穫的な仕事を主にする。
  - 植物(果樹、花卉等)特に郷土に於て栽培されてゐるものについて行ふ。
  - 動物飼育、植林等
  - 其他校舎校地の清潔、整理について作業を愛し、勤勞をよるこぶ習慣を養ふこと。
- 第七、忍苦より更生への高一學級經營**
- 義務教育を了へ直接社會へ乗り出した者と、中等學校へ進んだ者とを除いた残りを收容したものが高等科の學級である。
- 彼等の多くは氣力に於て欠けて居り、向上心に就いてみて物足りない點が多い。
- 高一の指導者はその原因が那邊にあるかを探究して更生への指導に全力を擧げなければならない。
- 1 (一) 高一兒童の心理傾向
  - 個性が明かになり、獨立心が強くなる。

- 2 理智が發達して來て合理的、自覺的な行動をとらんとし、又批判的に他者の行動を觀察して來る。
  - 3 社會性が發達し、國家觀念がはつきりして來る。
  - 4 身體は非常に發達して來て、男女の性別が著しくなつて來る。
  - 5 男子の思春衝動が生動して來る。
  - 6 固定注意が著しく發達して來る。
  - 7 遊戯は協同的、競争的となる。
  - 8 既知の記憶を應用して新しい發見を試みる。
  - 9 競争心、名譽心が強くなつて來る。
  - 10 成長が著しくなる。
  - 11 現實的傾向がいちぢるしくなり、職業に對して目覺めて來る。
- (二) 高一の特異點
- 1 中等學校に行き得ぬ兒童である。
  - 學問萬能の夢さめた時代と言ふものの尙中等學校に進み得ない者の胸には、成功の第一歩を踏み後れたかの如き哀愁が残されて居ることであらふ。
  - 今は中等生となつた嘗ての學友と出合つた時、ある者

- a 高等科卒業後上級學校に進む者。
- b 家庭の關係上入學出來ぬもの。
- c これには生計の關係上や、職業の關係上等がある。
- 入學試験に失敗したもの
- この中の大部分は左に屬する兒童で、その中には將來有爲の人材となるものが少くなく含まれて居ると思ふ、特に都會地をはなれた土地にその數が多いと信じ
- る。
- この他健康上から行かぬ者も居るだらう。
- 2 混合學級である。
- 學校を異にし、同一學校出身としても學級を異にし、男女を異にして居た者が、寄り合ひ世帯を作る場合が多い。
- それだけ校風、級風を異にしたものゝ影響をうけて利する點もあるが、學級としての統制、融和に支障を來

- 3 尋六よりも輕視されることが多い。
- 4 學年の地位より見ても又身體的にも、精神的にも高一の最初に於ては尋六と差違少く、學業方面では壓迫される傾向さへ見へる。
- 5 競争心が強く、個性が明かとなる故に、中心人物の影響なり他生の影響を受けることが著しい。單に模倣するのではなく他に負けず自己を確立しようとする努力を猛烈に起す。
- 6 作業的は、勤勞的な精神に富む。
- 7 家庭の關係上勤勞をいとはない者が多い。眞面によく働く傾向がある。
- 8 自分の家、自分の力と言ふものに特に關心を持つて來る。そして自己の生活、自己の將來について空想的でなく現實的な考察を行つて來る。
- 9 之等は職業希望などに明かに現はれる。
- 10 生計方面より見て大體平均されて來る。
- 11 身體、精神の發育變化時期である。

(三) 高一經營の綱領

- 1 教師兒童共に高等小學の目的を確認してその達成に努力する。義務教育の延長として國民教育を完成することに努力する。その爲には次の様な事項を常に念頭に置く。
- a 眞面目な性格を造らせ度い。
- b 健康な體をもたせたい。
- c 研究的な努力的な態度を養ふ。
- d 圓滿な豊かな愛情の持主たらしめる。
- e 郷土に強い愛着を持たせ度い。
- f 作業的な勤勞愛好の性格を造らせ度い。
- g 職業に對する理解と興味を持たせ度い。
- 2 正しい人生觀の樹立をはかる。
- 3 公民的な精神の陶冶。
- 4 生のまゝの彼等の生活にふれ、それを理解することに努める。
- 5 個性のあざやかな人格育成につとめる。
- 6 職業の選擇指導を行ふ。
- 7 明るい張切つた氣分を作ることに努める。
- 8 すべてを一層自治的に行はしめる。

- 9 自覺を促し、自信を強めることに力める。
- 10 作業を重んじ勤勞愛好の精神を涵養し、實業的な陶冶を行ふ。
- 11 高等小學生として新なる意氣込を持つて努力精進する様導く。
- 12 郷土調査、郷土研究等によつて郷土の理解を一層深めると共に、郷土民としての覺悟をかためさせる。

(四) 難點に處するの道

- 1 よき日本人とは如何なるものであるかを理解せしめ、その達成に努力する。
- a 忠君愛國の念に燃えてゐること。
- b 其他綱領の一に列舉した事項にかなふもの。
- 2 正しい人生觀を持たしめる。
- a 學問ばかりが成功の道ではない。
- b 人生の目的は高位高官に登り又は財力を獲得することではない。
- c 眞面目に力一杯生きることだ。
- d 職業に就いて勤勞的なものゝ尊い所以を知らしめると同時に作業を重んじて勞働快の體驗をなさしめる

- 3 働かない者程偉いと言ふ概念を消去り度い。
- e 各個人の長所を認めてやり、自信をつけさせることによつて生活を明るくさせ、明るい人生觀を樹立させる様つとめる。
- f 出世とか偉い人とかの内容に新しい意味をもたせてやること、即ち自己の職務に忠實なことが偉いことを充分信じさせ度い。これが一番大切である。
- 以上は説話作業遊戯等をとほして常に徹底をはかる。層が残つてゐる張合がないと言ふ様な態度で居たとしてたら人の子をそこなふも甚だしいことである。
- 3 彼等の力を認めてやつて自治的にすべてを行はせる。自治會を組織して仕事を分割し全員を分けて主任、又は各委員として自治的に仕事の處理をなさしめる。責任を以てよろこんでまかされた仕事に當るものであるこれについては中心人物の養成に力を注ぐことが必要で、それによつて級としてのレベルが急激に向上する
- a 學習規律、運動、記録、衛生、學級園、會計、出欠席奉仕等の各部に分ける。
- b 週番制により順次學級の仕事の處理に當らせ團體的訓

- 練と統制の體驗を得させる。しかも誰でも級の先に立つてやれると言ふ自信を得させ、力をつけることが出来るのでこの役員輪番制度は極めて効果がある。
- c 學習分團 學習を責任あるもの、能動的なもの、競争的なものたらしめて能率の向上を計る。
- 4 各特長を生かす。  
異つた級風、異つた校風、性別による差異等そこには短所もあるかはり、長所も少ないことを忘れてはならない。  
短所に目をつけて小言を言ふよりも長所を稱揚する方が價値が大きい。各その特長を發揮させることによつて、新學級の長所とすることををはかる。
- 5 學習に新味を加へる。
- a 學習 委員
- 1 各教科について二名位づゝ置きその教科學習の中心とし、誰でもどの教科が一つ位は委員になれる様努力させる。
- 「やれば出来る」といふ信念と、これだけは他の者に負けられないと言ふものを持たせることによつて生活に

- 自信と光とを生ませ度い。
- b 學科擔任制加味
- c 實業科、英語等の指導
- d 其他基礎的なものゝ徹底を期す。  
かなり難教材もあり、範圍も廣くなつて來た、故に教材を精査して基本的なものを選定して、それを反覆練習して徹底をはかること。
- e 興味つける。  
能力低い者が多いとしたら特に必要である。容易な問題について考査してよい點をとらせることも一法である。
- 成績向上の跡を具體的に示してやること欠陥を示してその點を自覺して努力する様導くこと等方法はいくらもある。
- f 特殊の研究をさせる。  
自分の興味ある事項又は問題を自由に選擇して課外に研究させる。
- 6 運動を獎勵して活氣づける。
- a 運動部の組織と運動日の定め。

走技部、ドッチボール部、野球部、バスケットボール部、等、各部に主將を置いて自治的に練習せしめる。

- b レコード表の作成  
組を分けての對抗 による力の向上。
- d 校内體育會
- e 講話、讀物による競技知識の收得。
- 7 郷土への親しみを持たせる。  
a 郷土藝術への芽生へを培ふ。  
藝術的な陶冶をはかる。
- b 郷土の研究、調査に力を入れる。
- c 郷土の誇の調査等。
- 8 學科よりも作業を重視する。  
子供の將來を考へても學問よりも實業に就く者の方が大部分である故、作業的な訓練を重視する。  
かくして職業陶冶も行はれる様にする。
- 9 學校生活に親しみを持たせる。  
a よく語り合つて彼等の生活を理解してやる。學校で野原で、時には教師の宅へ遊びに來させる。  
b 彼等の長所を認めてやることによつて活氣づける。

c 文集の様なものを行きさせ、その中に推賞してやること。その文集が彼等の一生の記念ともなる。

要するに教師の努力によつて彼等に學校生活を楽しいものとして嬉び、活氣づかせる様に導くことが、この學年の難點を打開する第一の道である。

第八、正しき社會認識への高二期の經營

あと一年で小學校教育を終了する兒童、それから先は多くの者は實社會に乗り出して荒浪にもまれ、學校生活からは離れてしまふ者が多いのである。

しかも現代の社會の實情は思想的に、經濟的に混亂を極めて若い苗木にも等しい彼等をあたゝかく抱いてくれるかどうか。果して弱小な彼等は正しく雄々しく困難な生活戦線を乗切つて行けるであらうか。

この點に思を致す時に高二の經營主點は正しき社會認識確固たる人生觀樹立の基礎をかためる點にあることを強調せずには居られない。

更に學年の地位より見る時は、最上級生としてその學校の校風を左右する重大な地位にある等、この學年の經營は極めて重要なものであることは今更言ふ迄もない。

(一) 高二兒童の心理傾向  
高一の項に挙げたところと殆ど同一であると言つてよ。

濃厚となつて来る。  
一部にことさら豪傑ぶる様な者が出来て来る事があ

(二) 高二の特異點

- 1 小學校としての最高學年であり、後一年たてば卒業して大部分の者は實社會へ乗出す、即ち學校生活の最終期に當つてゐる。
- 2 正しく勇ましく實社會へスタート切らすべき重大なる使命を持つて居る學級である。
- 3 學校生活への愛情と、最上級としての自重とが異常な精進をも呼び起す。
- 4 實社會へ必然的に眼を向けて来る。
- 5 職業について深く考へて来る。
- 6 體力、精神力が異常に發達する。特に暑中休暇一ヶ月の間の發達は著し。
- 7 一部の兒童は生意氣となり、青年の風習を眞似したがつて来る。
- 8 自分の家を現實的に見つめる様になつて来る。そしてそれに基づいて將來を考へる。
- 9 正義を愛し、合理的に行動せんとする態度がいよゝ

- 10 多くの兒童は家庭に於て手傳をする。
  - 11 従つて働くことをいとではない。勤勞的、作業的なことに眞面目な態度を以て臨んでゐる者が多い。
  - 12 身體、精神の發育變化期にあつてゐて、女子の嫉妬心など著しくなつて来る。
- (三) 高二經營の綱領
- 1 目的に對する確固たる信念を持つ。
  - 2 教師兒童共に高等小學の目的を自覺してその達成に努力する。
  - 3 最高學級であり後一年で實社會に出ると言ふ自覺と責任感とを強調して眞劍味ある生活をなさしめる。
  - 4 自治的公民的精神の陶冶をはかり、正しき社會觀、人生觀の基礎をかためる。
  - 5 作業的、勤勞的な精神を涵養して着實な人格を育成し土の人、手の人たらんとつとめる様導く。
  - 6 郷土調査、郷土研究等により郷土の理解を一層深める

- 6 と共に、郷土民としての覺悟をかためさせる。
  - 7 學校生活に親しみのある思ひ出を残さしめる様つとめる。
  - 8 各教材を精査して系統的、總括的な指導を行ふ。
  - 9 卒業學年としては特に家庭との聯絡を緊密にして卒業後を豫想しての指導を遺憾なく行ふこと。
  - 10 教師先づ求道的な精進を行ふこと。
  - 11 明るい生々とした級風、更に向上的な校風を作ること
  - 12 體育を奨勵して不屈の精神と正義觀の養成、體力の向上を計る。
  - 13 個性のあざやかな人格の育成につとめる。
  - 14 職業陶冶を行ふ
- (四) 正しき社會觀樹立への指導
- 1 社會への開眼
    - a 新聞紙をとほしての社會事象の研究考察指導。
    - b 家庭又は郷土を中心としての出來事についての指導
    - c 郷土の行事時事を中心としての指導。
    - d 社會奉仕的な仕事をなさしめること。

- 2 正しき社會觀の養成
    - a 同情社會、協同社會の理解、
    - b 互助、共働的な精神の涵養、
    - c 奉仕的な精神の養成、
    - d 職業をとほしての社會への寄與(社會人としての責務)
    - e 正しき人生觀の樹立(高一の項参照)
- 高一より引續いてこの徹底を計る。
- 以上の具體的な現れとして、模擬社會構成、學友慰問學友祝誕、下級生に對する諸種の愛護的な仕事、公德運動(道路清掃等) 敬老會、義捐金、校内に於ける奉仕的な作業、自治的な學級生活の體驗等をなさしめる更に一方では之に對する反省、批評、新聞紙切抜による指導等によつて知的に社會人としての眼を開いて來らせ
- 3 自治的訓練、
- 自治的な態度を養成することは、社會人としての重要



な一部份であり、特に最高學年としては全校自治の中心をなして、その進展の物に努力させることによつて自治的な訓練をなすことが肝要である。

校内監護當番の助手、部落自治會役員、學級としては、規律、學習、運動、衛生等の各部を分けて全員が、それ／＼その部を分擔して各責任を以て分擔部の發展をはかることによつて學校生活又は學級生活の向上をはかる。

よき最上級の級風はやがてよき校風を作ることになりその學校の向上をはかる所以であることを理解させて大いに發奮させる。

役員輪番制によつて、誰でもその任を果し得る自信とそれによる團體的精神の理解深化を計る。

其他尋五—高一の項に於て述べたところと同様である故省略する。

4 郷土への愛着

a 郷土の理解

郷土の調査研究(尋六の項参照)  
研究物、直觀物による指導。

b 郷土に親しませる。

教材を郷土の中に求める。  
校外に出での作業(神社、佛寺清掃、林間學校、道路愛護等)

郷土の誇り、郷土の特異性の研究理解。  
郷土の自然への親しみ(水泳、踏査、野外運動、寫生實習等)

c 郷土への批判、希望

更に郷土發展に對する意氣込の養成。

5 職業 陶冶

a 職業理解。(知識附與)

b 選擇上の心得。

c 諸調査(家庭、兒童、職業の三方面)

d 父兄との相談。

e 見學、體驗等、これ等については尋六の項参照。

6 其他

a 學校への愛着の情を養ふこと。

b 卒業後も學校を中心とした施設をなして指導を行ふこと。

c かゞやかしい學校生活の思ひ出を持たしめること等これ等については項目を列擧するだけにとゞめて置くこととする。

要するに高二經營の要點は、小學校教育の終了期で最高學年であり、多くの者は直に活社會に出て實務につくのであることに留意して、經營の方針なり、實際なりを進めなければならぬと信するものである。

第九、結 論

以上尋一よりはじめて高二に至る迄前後四回に涉つて自分の信じる各學年經營の努力點を記述してみたが、要するにその主點は各學年の標題としたものが示す如くに、

尋一、家庭生活の連續的發展。

尋二、學習生活への興味づけ。

尋三、學校生活の基礎確立。

尋四、訓練を中心とする。

尋五、自律自治的生活態度の養成。

尋六、よき郷土人にまで。

高一、忍苦より更生への生活指導。

高二、正しき社會認識へ。

この達成を計ることによつて小學校教育の目的を達し度いと言ふところにある。

然し乍ら自分の淺學非才の悲しさ、各學年の努力點を明かにすることが教育的効果を大ならしめる重大事項であることを知り乍らも、その樹立し得たところのものが極めて常識的であり、根柢なく系統立つて居ないことに情けなさを感じて居る。

たゞ現状に鑑みて、各學校に於いて發展的な各學年經營の主眼と言ふ様なものが確立せられ、各學年經營者が各學年經營の系統を樹立して、系統ある經營が行はれなければならぬ點を強調するところに自分の意が存して居るのである。(終)



# 句俳

都筑・山内第一校

## 石原日の出

新築の居宅普請や秋の空  
 立てそめし髻恥かしき三十路哉  
 小夜風や櫛の實落つるトタン屋根  
 柚子の香の淡く残れる袂かな  
 道標に稻子群れ寄る出水かな  
 凹み路にむれる木の實や秋晴るゝ  
 ほし柿の早やあめ色になりけり  
 もぎ竿の届かで残る熟柿かな  
 盆栽の紅葉に床の眺めかな  
 藪柑子、小春日浴びて眞赤なる  
 たゞ一人祖母の留守居や草紅葉  
 朝寒や雞の吐く息見ゆるほど

(六、一一、一五)

神奈川・白幡

## 貞廣一燈

### 秋の句

瀧壺は木の葉に涸れぬ秋の山  
 秋山の入江に釣りぬ小半日  
 鈴振つて馬行く秋の山路かな  
 秋山を縫ふ自動車や五湖巡り  
 秋山を下りて湖邊の宿りかな  
 行く秋や蔓となりたる葡萄棚  
 霜厭ふ木に巻く藁や暮の秋  
 孕み帆や秋を名残の沖津風  
 眉剃つて夫の菩提や秋名残  
 蜘蛛の巣に蜘蛛居すなりぬ秋名残

南園や秋を名残の小草花

青桐や一葉残して秋の行く

退社後の綿と疲るゝ夜學かな

明けて職暮れて學舎に休み無く

受験期の夜學に腫れし眼蓋かな

山藤の根に蛇入りし小穴かな

蛇穴に入りてどくろの地ぬくもり

凡そ世に嫌ひな蛇や穴に入る

### 鹽原

温泉町紅葉ほのく明けにけり

碧潭を岩間紅葉を我れは温泉に

# 世相諷刺詩

一

燈

一、A端を中心に、

B端に錘をつけて

ABの糸を廻した

廻はる廻はるくるくく廻はる。

二、Aの動作は甚だ鈍く、

Bは働く、せつせと働く

AもBも同じ糸だ、

唯兩端だけの違ひだ。

三、動作の鈍いA端は

廻轉のしかも中心だ。

動作の烈しいB端は

廻轉のしかも尻尾だ。

經 濟  
講 話

清算取引市場に於ける用語

S S 生

今や經濟教育や政治教育を重視する時がきた。郷土教育を高調してみても教育者が政治、經濟の知識に暗かつたら、郷土教育もなにもあつた者でない、特に都市の教育者が、複雑、紛糾せる政治組織、經濟組織に無識であつて如何して市民教育ができるものか、然し吾々はむづかしい理論を知らうと言ふのではない、せめては通俗的知識を缺いてゐないことが世態人情をり下する普通教育者の一資格であると思惟するものから、この講話壇を設けた理由であります幸に會員諸氏の賛同を得ますれば此上ない幸福であります。(Y S 生)

清算取引市場に於ける用語で一般人に解し難いものを照會することはあながち冗事でもあるまい。其前に「取引所の清算市場に於ける取引」の概念を與へる必要がある。

第一に取引所に於ける賣買取引は現行規程の上にて左の如くなつてゐることを記憶して頂き度い。

- 取引所
  - 實物市場に於ける取引 (商品) (有價證券)
  - 清算市場に於ける取引
    - 長期取引 (商品) (有價證券)
    - 短期取引 (有價證券)
    - (株式) (債券)

次に實物取引が一旦賣買取約をした以上必ず其物の受渡をする取引であるに對し清算取引は先物即ち一ヶ月なり二ヶ月なり先に實物を取引する積りで賣買取約をしても其後其物の相場の変動を利用して轉賣買戻の方法に依り相場差金を受授することを得る取引であることを知つて頂きたいのである。

さて用語であるが新聞の相場欄によく用ひらるゝものを列擧して簡單なる説明を加へることにする。

- 一、玉 賣物買物の數を云ふ。
- 一、引かれ玉 損をしてゐる玉
- 一、出來高 賣買取約の出來た數量
- 一、出來不申 (又は不申) 賣買がなかつた事
- 一、空廻り 賣買がなく立會場に於て只撃柝を打つたのみで終る場合。
- 一、保合 相場が動ぬ事
- 一、上放 保合つて居た相場が騰る事
- 一、下放 反對に下る事
- 一、臺割れ 十圓とか二十圓とかいふ臺を割る事
- 一、臺替り 十圓臺から二十圓臺にかわる様な場合をいふ
- 一、賣崩し どし／＼賣つて相場を崩すこと
- 一、買煽り 盛に買つて相場を煽り上げる事
- 一、押目買 安くなるのを待つて買ふ事
- 一、チャブ付く 場面が氣迷つて一寸上下する事
- 一、氣迷 材料がなくて先きの見込のつき兼ねる事

- 一、前場 午前の立會
  - 一、後場 午後の立會
  - 一、軟派 賣方
  - 一、硬派 買方
  - 一、立會中止 場面不穩の時又は不穩と認めた時に取引所が立會を中止せしむる事
  - 一、新甫 先限の最初の立會を云ふ
- 例（一月 二月 三月 四月 五月 六月）と生糸六限月についていふと一月四日に立つ六月限の最初の立會をいふのである。
- 一、發會 年の初めの立會をいふ
  - 一、納會 月末の立會を云ふ年末の立會は特に大納會と云ふ
  - 一、肩替り 自分の持玉を他人に譲ることで相場に大變動があるときに屢々起る。
  - 一、解合 取引の圓滑を缺きたる時或一定値を定めて賣りと買ひとを相殺する事
  - 一、棒値 解合に於ける一定の値段は一値であるから之れを棒値と云ふ
  - 一、大手 大玉を賣買する人
  - 一、マバラ 小玉を賣買する多數の人
  - 一、提灯をツケル 大手の行動を眞似て小さく賣買すること
  - 一、玉ホグレ 轉賣買戻に依つて取組高が少くなる事
  - 一、喰合 賣買の取組を云ふ
  - 一、賣長（買長）各取引員の賣買玉を差引いて賣買玉の残つてゐる取引員の數が買玉の残つてゐる取引員の數より多い

場合を賣長反對の場合を買長と云ふ

- 一、雜平 相場が下れば下る程買玉を末廣的に増し、上れば上る程賣玉を多くして行く事
- 一、曲屋 損をしてゐる人又は店
- 一、當屋 利益をしてゐる人又は店
- 一、足取表 相場の高低の經過を表にしたもの
- 一、ド轉 賣つてあるものを買戻して新規に買をする様な場合に用ふ
- 一、ドタ 丁度と云ふ意味で百圓ドタといへば百圓丁度といふ事である。
- 一、兩建 賣と買とを同一限月に同一枚數をすることで相場暴騰又は暴落の場合によく行はれる方法である。
- 一、ヤリ 賣ること、例一買二ヤリ等
- 一、ガラ 相場の比較的大下落した時に用ふ
- 一、仕手 賣買をなす人
- 一、地場連 其土地の賣買者、單に地場ともいふ
- 一、亂手 市場を攪亂する目的で無謀の値をつけて賣買の手を振る事
- 一、デリ高、デリア 相場が少しづつ高下すること
- 一、利喰 利益して賣買玉を手仕舞ふ事
- 一、踏む 損をして賣買玉を手仕舞ふ事
- 一、本調手 相場が騰落が本質的になつた場合
- 一、節 立會の一區切りを云ふ前場二節といふ如し
- 一、目先師 目先の形勢を推察して賣買する手筋

- 一、鞘取 限月と限月又は現物と清算の間に生ずる利鞘をとること
  - 一、様變り 相場の様子が全然變つて來た事
  - 一、臆刺 有力筋または支人筋の玉だなどと稱して賣買し密かに安値を買ひ高値を賣る商略である。
  - 一、灰汁抜け 相場暴落して買方が悉く投げ退いて一段落となつたこと
  - 一、實彈筋(手持筋) 渡物を持つてゐる手筋
  - 一、封印 取引所の受渡に供する爲め所定の検査に合格せしものを封印付といふ
  - 一、車仕掛 利の乗つた玉を轉賣又は買戻し其利益金をも證據金として玉を増す事
  - 一、呑む 客の注文を取引所に出したやうに見せて實際は取引員が相手となつて向ふことで此等をやる人を呑み屋といふ尤も違犯行爲である。
  - 一、呼値 生糸についていふと清算取引の呼値は一斤、現物は百斤、紐育では一封度建の値である。
- まだこの外に多數の用語があるが教育會から締切を急がれてゐるので今回は此位で擱めて置く。
- 尙ほお断り申上度いのは順序を整理するの時を有せなため甚だ不秩序な稿を叙し遺憾の儀は讀書諸彦の前に厚くお詫び申上げ其諒恕を仰ぎ置く次第である。

「經濟記事はとかく初めての者には呑み込めないのが普通でありますから、質問して下さい。講師に御迷惑を願つて紙上回答することに致しますから。(編輯子)」



## 音樂の鑑賞教育より見たる

我國兒童吹込レコードに就て

足柄下郡・湯本校 熊澤三四郎

去る十月二十二日茅ヶ崎小學校に於ける縣下六郡唱歌料協議會上に於て鑑賞教育問題で可成に論議されたのは時節柄大いに喜ばなければならぬことである。

由來唱歌教育の發達と共に或は器樂問題、或は自由作曲問題と矢繼早やに新天地への叫びが生れて來て、そうした問題がこの教育の上にたしかに向上發展すべき必然的の要求として識者の誰にもうなづけられて居るけれども然しその實質に於ては、縣下と言はず恐らく全國的に未だ理論上からのみ論議せられてゐるだけで、之に對しての深い實際的研究は少くとも私の知る範圍に於ては幼稚な形式的のものであるらしい。

レコードによる鑑賞教育も之が目的觀に就ては勿論誰しもが肯定し得るもので、今更是非を論ずるときではないが然しその方法論に於てはレコードの選擇にしても、指導法にしても、その他あらゆる實際教授方面から眺めた幾多の問題に就ての深味のあるものは何等現今の教育研究者は公然と發表されていない。勿論之を最も早く實際價值として研究した山本壽氏や、或は又研究的部面に最近一轉機を劃したる山本正夫氏や、唱歌教育に明るい生命を以て新音樂研究に没頭されつゝある北村久雄氏や、或は讀譜教授に兒童指導振りに於て定評ある幾尾純氏等や、歐米の教育にヒントを得られて日本音樂教育に新天地を開かんと努力されつゝある田村虎藏氏等によつて幾多の研究材料は發表さ

れているけれども、凡てがその部分的なものであり、理論的形式的なものであるに過ぎない。

もし草川宜雄氏の鑑賞教育實際論に至つてはそれが高遠であり中等學校式であり非地方的であつて我々の同案に對しては餘り懸け離れた今日の兒童を悲しく思はせられる。月刊雜誌に音樂研究會に幾多の有名無名の氏が發表する鑑賞教育の實際案は凡てが形式的で表面的で理想的であることは亦等しく寂しさを感じられる。

それ程現代日本の音樂教育に於ける鑑賞教育は幼稚であり未だ過渡期であると私は思ふのであるが、然し此私の言葉は決して私の不遜な態度がかく言はしめていゝのではない事を讀者諸氏の中には理解さるゝ方が多いだらうと思ふ。故に去る該科協議會上に於ける會員諸氏の意見若くは發表も、とらはれた非實際的なものゝみであつたことは無理からぬことである。吾々はもつと此の問題に就ては深く思索し深く研究して此の方面の明るい奥深いものを、求めなければならぬと思ふ。

然しやがては數年の間にこの方面の教育安定が確立するに相違ない、なぜならば前述の器樂問題自由作曲問題よりも、現在に於ては鑑賞問題がより切實的であるといふこと

から、音樂教育研究者の誰しもが最も堅要なる問題としてその研究に没頭しているからである。

## 二

私も實は早くから此の問題に就ては種々考へさせられた。然し薄給な私が家庭に備へて多くのレコードによりて研究するといふことは悲しくも許されない問題であるがため、唯騒然たる街頭に立つて耳を立て、友人のわづかに有するレコードを聴きあさつて研究する機會を得て來たに過ぎなかつた。

最近町の特志家によつて吾が校に機械及レコードを寄贈せられたので今は専念之が研究を續けているものである。故に私とても之が實際案を公表することは尙早きときである、この方面の系統的な研究發表は何れ後日に批判を得たいと思ふが、私はその前提として先づ我國の兒童によつて吹込まれたレコードに對して鑑賞教育上から眺めた所感を述べ、之が私の有する鑑賞教育觀を通じて如何なる問題に歸着するやに就て敢て一言したい。

鑑賞教育の目的にむづかしい論を續ければ限りがないが紙面の都合もあるから此處には除くとして（尤も目的論に就ては前述識者間に叫ばれている多くの意見は皆大同小異

である）その根本目的を一口に言へば兒童の聽覺を主體としてこれを通じて「よりよき音樂的人格への向上を計る」がためであるは變りはない。

かるが故に音樂のあらゆる構成の上から一通りを選ばねばならぬし、それに就ての指導上の目的、方法も生れて來なければならぬ。私は先日茅ヶ崎小學校に於てなされた鑑賞教育の指導法に就ては少なからず敬意を表するものであるが、尙言はしむれば、あの五年の女生に「ドリゴのセレナーデ」を選んだことに就ては、現在のある兒童を通じていさゝか見解を異にするものである。

あの學年はあの以前に於て「スーベニヤ」とトロイメライとを取扱はれていゝといはれるが（勿論類似的の教材として「あらうが」此の場合「スーベニヤ」と「ドリゴのセレナーデ」とを比較して何れを前に取扱ふべきかといふ問題に於て考へてみなければならぬ。

言ふまでもなく「ドリゴのセレナーデ」は「ドウルドラ」又は「トステイ」のセレナーデと共に最も通俗的に知られているものであり曲想に於ても曲の構成上に於ても兒童にははつきりとした音樂部印象を與ふるものである。又「スーベニヤ」は「ドリゴのセレナーデ」に比して頗る優雅な

然かも冥想的な感じのものである。然して前者も後者も三拍子ものではあるが前者は後者に對して非常に親しみ易く後者は前者から眺めて音樂格（音樂的品格）の數段高いものである。之は演奏に際してもスーベニヤを上位に置く所から推してもうなづける（上位に置くとはいふ發想が前者に比して精細であるといふことである）。然し兒童の心理的立場から考慮して私はこの二つの曲の系統を前後して、然かも其間一學期以上の距離を置くことを希望するものである。

而して私は現在のあの程度の兒童の鑑賞資格から言ふならば二つの曲を、六年程度に引き上げたい。勿論トロイメライはその以前に授くることには賛成である。

とにかく之は一つの例に過ぎないが、あのよく研究された細目に對して非常な敬意を拂はずにはいられないと共に、かくまで研究されたものである中に、その取扱の價值觀を追求していく時、如何にこの方面の撰擇が頗る難かしいものであるかをあの細目を通じて思はせられるのである。

## 三

さて私はこゝに本論に入らねばならぬ。子供の吹込めるレコードを教育上に利用する事に二つの意義が考へられる。その一つは此唱譜を通じて兒童に美を味はしめて形式方

面(唱歌教育の目的たる唱謡方面)を指導することである。發音發聲口形に於てレコードに吹込まれた子供のそれは全く一般兒童のよき師範であるものが多い。殊に獨唱(兒童各人の個性によりて表はれる音樂的人格が獨唱の中に盛られなければならない。故に獨唱の中にはその以前に於て指導者の教育的全努力が最も判然と表示されているとみてよい)指導、若くは個々の欠點を反省せしむるには最上のものであるとも一面から考へられると思ふ。兒童は之を聴き之と和することによつて音樂を知り自己を識るであらうところに、大なる價値を求められる。故に兒童に聴かしむる日本の子供の唱謡せるレコードは正しき唱ひ方によつてなされていなければならぬ、殊にプレッス、タイムアタセントに正しき唱ひ方を欲するものであるが、現在のレコードに就て調べてみるに、かゝる點の無視されたものが數あることを悲しむ一人である。

尙私はレコードがかゝる目的を持つ場合に於ける伴奏は餘程の考慮を要することを附言したい。私はよく伴奏の強きレコードを聴く又、伴奏に、ベルやシロホンや、カストネットやの助奏並にオーグストラ等を聴く。兒童の聲はかゝる天歳兒であつても矢張り纖弱である。

故に時にはその伴奏に押さへられて折角のその子供の持つ唱歌量若くは質を打消されたものとなる、甚だしきは要らざる場合に耳を破らんばかりのベルやシロホンの音を聴いて私は神經質者の様に全心のいらだゝしさをさへ感ずる時がある。然し之に對してよき經驗を有す指揮者によつてなされたものには前奏に於て又は樂器の變化ある助奏を有効ならしめたレコードもある、何れにしても伴奏それ自身の力によつてその價値を高めようとしたるレコードは獨唱の本質から遠ざかるものである。助奏によつて價値を高めようとしているレコードは表面的で瞬間的である場合が多い。深みのある眞剣な指揮によつて子供の唱謡せるレコードたらしめたい。

その二はその唱謡を聞かせることによつてより音樂的な一般美に浸らせて内容方面へ唱歌科の持つ目的の美感覺の培養により効果を與ふることである。兒童はレコードを前にしてその美に打たれ自己の何物をも忘れて聴かうとする所に音樂的人格の育成を達し得る、かゝる目的から眺めた時に伴奏の美しさ、變化から來る音樂美をこそ求むるが然しこの方面の爲になす吹込法ならば敢て兒童の神經をとがらせるものを選ぶ必要はないと思

ふ、殊に唱謡を通じての即ち「歌言葉」を自身の持つ特質から考へて矢張り私は助奏伴奏を主體として價値付けることに就ては賛成出來ない。かゝる意味から現在の兒童唱謡曲のレコードはあまり劇化にしてはいないか。と疑はれる點もなごではない。

ともかくも以上の二つを重心としてみたとき何れを主目的に置くべきかと考ふるならば私は何處迄も前者をとりたい。唱謡それ自體による點の培養であつてよいと信ずる一人である、もしそれ第二に屬すべきものは他に種々の良法を求むることが出来るではないか、然かも第二の方法によつてなされているかの如く考へ得らるゝレコードの中には寧ろ低級のもの多々あつて教育要素に欠けたものが多い。最近童謡ジャズと銘打つて發賣されたものを聴くが、之等はともすると兒童の音樂性に甘え過ぎるものであり、人間の持つ弱點に食ひ入るものになり易いとして、私は排斥したくなる。

以上私の感想は決してその當事者に對する攻撃ではない教育者として選ぶべきレコードに就ての態度の一端を述べたるに過ぎない。

(昭和六年十月三十日認む)

滿蒙に於けるこの排日行動を見よ

滿蒙に於ける排日行動は眞に計画的であり徹底的であつた。左の事實を見よ。

- 一、旅大回收運動 關東州租借權は即ち今後尙六十六年を餘すのであるが、支那は之が無効を宣言し盛に回收の運動を起すのみか之を以て日本の交渉回避の口實としつゝある。
- 二、滿鐵經營權侵害 (A)日本の滿鐵並行線を拒否する條約上の權利を蹂躪し競争線を敷設したのみならず、着々滿鐵包圍の計畫を進め、滿鐵を挟んで東西二大幹線の建設を企圖してゐる。
- (B)日本は滿蒙の開発に當つて支那官民と協力せんとし、我が資本と技術とを以て支那の鐵道建設を援助したのであるが、支那は之を滿鐵壓迫に利用し、借款の償還は勿論、其利子或は請負金の一部をすら曾て支拂はず極端なる運賃低下を行ひ以て滿鐵の貨物を奪取しつゝある。
- 三、商租權侵害 支那は曾て日本人の商租を認むる條約に調印した。然るに支那は之が細目協定に應ぜざること茲に十六年、私かに外人の企業を阻止すべき幾多の法令を發布するの不信を敢てした。のみならず國內法上の行政處分により日本人に土地家屋等の貸與をなすものを拘束し、日本人の一切の商業的行爲の自由を奪つてゐる。
- 四、商工業壓迫 日本人が自由に居住し安んじて其業を營み得る地域は、現在渺たる鐵道附屬地のみで日支人を始め歐米各國人によつて各種の企業が行はれ歐米式市街が繁榮してゐる。然るに附屬地を經濟的に封鎖せんとし、或は不均等な課税を以て外國人の商工業を妨害し甚しきは官憲が愚昧の地方民を使喚して附屬地に對する長期に互る野菜の供給拒絶をなさしめた實例さへある。





## 可憐なる通信

パーキンスにて 猿 田 惠 子

猿田恵子さんは今年二十歳になる横濱訓盲院の女生徒であります、義順選ばれて同じ一人のお友だちと一緒に米國パーキンス訓盲院に四年間留學のため渡米したのでした、恵子さんは生れながらの盲目ではなかつたので、それがあの恐しい大正十二年の震災の日に、眼を打撲してから不幸にも失明したとのことです、この不運兒も性來恰悞の質なので、えらばれて留學させられることになつたのです、そして彼地からの第一回の通信がこれなのです、暗い世界を明るくと校長「ミスター、フェロー」の慈愛にみちたうつくしさが偲ばれます。因に訓盲院は、市内根岸町にあつて、現在生徒三十六人、家族的で在學中の費用は全部院の負擔であるとのこと。院長は「ギデオ、エフ、ドレーバル」主事は今村幾太氏である。

パーキンスに参りましてから、もう一週間、其間落付ひてお手紙を書くことの出来なかつた事を心苦しく思ひます船が横濱を出てからは、海は何時も静かでした。けれど矢張り大平洋の眞中でした。船體が絶えず動揺して居る爲め、五日ばかりは二人ともひどく苦しめられました。しなければならぬお仕事は澤山御座いましたのに、夫れには餘りあはたゞしい旅行でございました。夫れで先生にお約

束いたしました、私の感想をさへ纏める事が出来ずに過ぎて仕舞ひました。十四日にバンクーバに上陸する。主な船客のことが其の日の新聞に出ました。其の中に私共の事まで加へてありましたが一寸變な氣持でした。私共がバンクーバに着くと直ぐサンフランシスコの田森さんから航空郵便で、お手紙が着きました。夫れが異國であつた丈けに其の喜びは一層大きなものでした。其の中にパーキンスの

校長「ミスター、フェロー」から私どもの到着を遙かに待つて居ると云ふ、田森さん宛のお手紙が十日に届いて居る事も書いてありました。私共は兎に角十一日間の海の生活に別れて上陸いたしました。其の日加奈陀は大變寒うございました。氣候の變動が激しい勢かとても長い旅行をして來た様な感じがいたしました。上陸すると直ぐ稻子さんの叔父様と叔母様にお目に掛りました。生れてからまだ一度も會つたことのない人の會合には、涙ぐましいものがございました。上陸すると直ぐ私どもは移民局へ行かなければなりません。そこで思はぬことに暇を取らなければなりません。それは、横濱の領事館でも度々足を運ばせられた、留學中の費用の負擔者がはつきりして居ないと云ふ事でした。夫れでシャートルに居る合衆國の全主任に電話で問ひ合はせるなどして、女子青年會にやつと落ち付く事が出来たのは、もうバンクーバの町がすつかり暗くなつてからでした。稻子さんの叔父様や叔母様は忙しい中に、それでも、せめてもの會合を喜んで歸つて行かれまして。私共は暫くぶりで地上を歩くことが出来たのでしたけれども、少しも落付くことは出来ませんでした。

私共は旅の疲れを休める暇もなく、税關の荷物検査や其の外いろ／＼な事にひま取つて、カンパートメントに落付いたときは、もう汽車の發車時間に間もない時でした。そして其の日から又五日間の汽車の旅を續ける事になりました。其の夜私どもはひどく疲れて居ましたので、其のまゝに寝て仕舞ひました。加奈陀の夜も明けて新しい日は來たのでしたが、私共は食べものを求める事が出来ませんでした。どこで停車いたしましたしても、人里離れた邊鄙なところで自由に下車して歩く事は出来たのですが、お店等も一軒もありませんでした。夫れで上陸するとき持つて來たおセンベと、少しのお菓子で簡單な朝とお晝とをすまして夜は仕方なく食堂に行きました。そこで皆んな可なりひかへ目に食べたのでしたけれど三弗かゝりました。こんなにかかるのなら、三食は愚か一食も食べられないと、皆んなで大笑ひいたしました。其の翌日からは幸、充分に食物を求めることが出来たので、大變風變りな面白い旅を續けることが出来ました。一日に一回停車する度に、必ず風呂敷を持つて街に買物に行くのでした。そして十九日の午前十一時、五分前にすべての調べがすんで、合衆國にはいる



ことが出来ました。そして、其の日の六時半無事にポストンに着きました。長い長い、ほんたうに長い旅行でした。

ポストンに着くと直ぐ、パーキンスに電話をかけて迎へに来て戴き、可なり遠い路を自動車にゆられて、パーキンスに着いたときはもう皆んな寝て仕舞つたあとでした。其の夜私共は女生徒の主任の「ミス、サエモン」と、ハウスマーザーの「ミス、ロー」とにお目にかゝつて、其の夜は其の儘眠りました。翌日の日曜日雨が降つて居ましたが教會へ参りました。月曜日の朝「ミスター、フェロー」にもお目にかゝりました。「ダクター、アーレン」夫妻は、ロンドンに滞在中奥様が御病氣にかゝつて手術をなさつたとかで、未だ御歸りになつて居ません。月曜日の午後、古川さんは此の地を去つて行きました。取り残された私共二人、其の日から私共丈けの新しい生活が始まりました。

月曜日の朝から私共も人並に授業を受けて居りますが、言葉がよく判らないので大變困つて居ります。夫れに、一日八時間平均に授業を受け、残りの時間で餘計な英語の勉強をしなければなりませんので、時間がいくらあつても足らなくて困つて居ります。こゝ暫くの間は唯一生懸命に英

語の勉強をしなければなりません。英語さへ判れば皆んなそんなに六ヶ敷くない様です。

パーキンスの學校の皆様は、氣味の悪いほど優しくして下さいませ。ミス、サエモン」は良く物の判つた人です。今の私共は、一日を送るのはやつとの事です。私共は同じ部屋に居ります。暫くの間随分苦しいだらうと思ひますがどうか過して参ります。

パーキンスに参りましたから直ぐ健康診断を受けました二人とも幾分か未だ旅の疲れが残つて居ると言ひましたが私共は大變元氣です。そして、亞米利加の食べものにも、もうすつかり馴れて仕舞ひました。稻子さんも時々は淋しくなるのでせうが、それでもじーつと耐えて一心に勉強して居ます。まあ、あんなに小さいのに、側に居る私が涙ぐまずには居られない時がございます。先生、稻子さんはあんなに小さくても、自分に脊負はされた責任の、どんなものであるかをはつきり知つて居らつしやいます。

先生、人が責任を感ずると言ふこと、夫れはもう其の仕事の幾分かを果したのと同じではないでせうか。

先生、私共は今只一心に勉強しなければなりません、

## 反宗教運動批判を讀みて

津久井・名倉 小川修平

某教育雜誌十一月號で現代名士六十餘名の反宗教運動批判を拜見いたしました。私反宗教運動の要領をよく承知しませんが、本批判中の數氏の反宗教運動者の説明的批判を見ましても、東京高師の石黒先生、佐々木先生其他の方々の批判を見ましても反宗教運動がどんなものであるかど大體うかゞわれます。現代名士とのあるべきものがまるではずれのことを言ひ或は「別に考へ申さず候」とか、反宗教運動を單なる宗教改革と考へ既成宗教を改革し宗教家を覺醒せむる爲め當然起るべきものであると申されて居りますが、思想困難の秋に當り名士がかゝる状態にあることは誠に慚愧に堪へません。私とても既成宗教を満足するものにはありません。殊に現今宗教家の墮落せるを遺憾に思ひ宗教改革を必要とするものでありますが、唯物辯證法的宇宙觀、社會觀を主張するコンミンテルに關係せる人々が革命に反對せざらしめんが爲めに既成宗教を破壊せんとする現今の反宗教運動には絶對反對するものであります。

勉強ばかりが私共の生命でないことを、はつきり知つて居ります。私共の今の生活、朝起きて祈り夜寝て祈る祈りの生活で御座います。かうした生活の中に與へられた、たつた一つの平和、それは残りなく聖旨に任せたもののみ與へられる慰めで御座います。私共はかうした生活の中に、神に最も近づくことの出来ることを喜んで居ります。

其の後寛喜さんの御病氣は如何でせうか、私共も遠くからお禱りいたして居ります。こちらに参ります時にお目にかゝれなかつた八郎さんにも、宜敷申上げて下さいませ。

平田先生や木村先生、福田先生や其の外の皆様にも宜敷申上げて下さいませ。今日は訓盲院の創立記念日で御座いますね、私共も七千五百哩離れたところでお祝ひいたしました。私共も忙しいのですが、でも、一生懸命にお手紙を書く積りで居ります。

皆様のお手紙もお待ちいたして居ります。 さよなら





# 若き教育者に寄す赤化私見

## 反感録 (其ノ二)

Y S 生

神聖なる教壇に赤化分子の現れたことは、内外に於ける  
 數多の原因があつての事ではあるが、若き教育者の神經を  
 尖鋭化しつゝあるこの狭範圍に於ける細末な事例の二、三  
 をあげてお互に考慮することは、この際に於ける萬更徒爾  
 ではなからうと信ずるのであります、儲私をして不用意に  
 言はしむるなら、教育者たちが思想問題に對し一般に理解  
 に乏しい或は乏しい風を裝ふ、否な、その無知識なること  
 が却つて善良なる教資者の一資格であるとさへ信じ、さう  
 した向きの書籍を手にするを以て恰も爆弾にでも觸るゝが  
 如く惧れおののき、それを直ちに過激思想家であるかの如  
 く遮二無二怪疑の眼を向けたがることでもあります、併し乍  
 ら今の場合少なくとも校長たる者が、主義者の思想に關し  
 て盲目押しに押し通るべきである何人も認めえないので

はなからうか。曾て屢々私を苦笑せしめたことは、職員會  
 の席などで若い教師の元氣の溢れから氣概に満ちた事を言  
 はふものなら「彼は不穩の事を謂ふ」と頭からたしなめて  
 かゝり、甚しきは「危険思想呼り」をさへするのである。  
 甚しい血迷ひ方です、此話は拾年も昔になるが、ある校の  
 首席訓導の言動が日頃から頗る校長の御意にめさなかつた  
 がして或時の職員會に反對意見を固執したとかで校長はそ  
 の訓導を左傾主義者だとして土地の有力者にまで吹聴した  
 といふのだ、そのことをきかされた私はその校長に教を求  
 めると同時に有力者に對しても某訓導のため辯護をしたと  
 言ふ滑稽なことがあつた。

兎角教育者の中には「不穩」と言ふ言葉を濫用する弊が  
 ある、何んでもないことでも言葉尻を強くてもいはふもの

なら忽ち顔色をかへて「不穩」だといふ、説述が卒直で露  
 骨にすぎれば忽ち「不穩」だと悲鳴を上げる、白いから白  
 いと言ふのに何の不思議がないのにそれが「不穩」にきゝ  
 なされて、おそろゝ黒くありますと同じの方が「穩やか  
 な言ひ振」だと青眼を以つて迎へられ、さうした者が才物  
 だの人物だのと嘯し立てられて重用されるのである、だが  
 若い教育者たちには不幸にしてそれが卑屈だとみえ、無理  
 想な者として唾棄されるのではないか。

「不穩」とは穩やかでないといふ訓む「穩かでない」それは「君  
 は赤いぞ」と威嚇的に響かせてゐることである、これほど  
 言論の自由を巧みに壓迫する不愉快な言葉はないのであら  
 う、これほど人間の志氣を阻害せしめ、向上心を萎縮せし  
 める者はないのであらう、故に教育界ほど傳統的な舊習に  
 囚はれて潑刺たる創造精神の缺けてをる社會は他に比類が  
 ないのである、それは「不穩」と言ふモルヒネ注射が餘り  
 にきゝすぎて中毒されてゐるからである。

然らば使用者その人は敢へて校長とは謂はない、「不穩」  
 の意味をどう理解してゐるのかと尋ねてみると、左傾と右  
 傾「ポリ」と「アナ」、「マルクス」と「マルサス」の區別さ

へも録に知つてゐないのにあきれる、この自分に曖昧なる  
 威嚇的用語の濫用が頭の鋭い若い人々の反感を如何に挑發  
 するかを知つたなら、其罪が何れにあつて塾れが不謹慎の  
 態度であるかを責めねばなるまい。

元來、眞實の尊王愛國者は、他人の言論を輕卒にきゝ流  
 しもしなれば、妄りに干渉壓迫などする者ではないので  
 あります、彼の吉田松蔭が、當時塾生の一人たる品川彌二  
 郎への出席促し狀の中に「君は近頃、塾に顔出ししないで  
 るがなでか、或は私の意見が氣に入らないのではないか、  
 若しさうであるなら、お互によく談合はふではないか、君  
 の意見も十分にきくことにしたいから速く出席するやうに  
 してほしい、然し漫然欠席してゐるのなら、廢學するまで  
 のことだ」とある、なんと懇切を極めた者ではないか、品  
 川彌二郎は當時未だ十八歳の青年であつた、然るに識見非  
 凡なる松蔭が、如何に一弟子を愛すると共に其の意思を尊  
 重しつゝ、教育をしてゐたことか、彼には國を思ふほか師弟  
 と言ふ階級意識だに微塵なかつた、彼は死の巖頭を前にし  
 て、大事を托すべく青年の前に跪座してその炎々燃ゆるが  
 如き祖國愛にきくべく唯念するのみであつた。この宛らに

孩兒を温袍するが如き彼の愛國の至情に一度想到する者鬼神と雖も泣かすにをられぬ譯のものでない。  
凡そ今日○○○長の肩書ある程のもの松蔭のこの愛國的情熱を有してゐることなら(さうした人は教育界には澤山ある筈)赤化運動など惧るゝに足るまい。

之に反して他人の意思を抑制する手の多くは、階級意識や自己の尊厳性に囚はれすぎた見にくい駄洒落でもあるが、多くは不合理に偏狭なる自己感情からきてゐる凡情凡智からなのである。だから自己感情に満足を與へる言であれば、後方から三寸の赤舌をペロリ、と吐かれても、宇頂天になつて迎合する、かうしたことが純な若い教育者たちの胸に卑屈な社交術を強いるか、社會に對する反感を浪立たせずにはおかない、かうした時若い教育者たちはその執れを選ぶか執れをも選ばぬかを聰明に判別することが必要でかの狐狸の族にあやまれてはならない。と同時に棟梁たる者も深く反省せねばならないのであります。

かの第二次日本共産黨事件のあつた時、時の田中内閣總理大臣の聲明書に何とある、普く「自ら警むる」と共に、嚴肅に「國民の省察を求むる」又曰ふ「世態の複雑に伴ひ諸種の

の説としても参考として聽取する程の雅量をかいた非紳士的な狐狸的解釋に因するからである。

併し乍ら彼等優越漢と雖も、その片言隻語が財閥なればこそ、堂々たる輿論としてきゝ入れる喜劇を演ぜしめらるるのは如何にも笑止の沙汰であります。私は或時、共産主義者の公判を傍聴したことであつたが、私をして意想外の感を深めたことは、公判廷はいとも嚴肅極りなき者であると言ふ先入觀念が裏切られたことであつた、勿論法官の態度は威嚴その者であるが、その威嚴の中に滲え漲れる温雅と人情味とは、被告の心情の平靜をかき亂すが如き外部的一切の衝動をさけるに十分であり、被告をして正常に所懐を吐露せしめるに格好のものであつた、數々の訊問後に於いて更に法官は一層やさしき態度を被告にむけて「君の今後の考へとしてこの問題の批判なり希望なりを述べてみよ」と促されたことであります。

峻嚴其の物ともみるべき司直に於いてさへ、意思の自由發表を尊重してゐることに較へては、何故教育者は聾啞の世界を杖なしに歩まねばならぬといふ理由が何處にあるかそれが所謂官僚主義だと謂ふならそれは昭和の官僚から

思想が現れるのは止むを得ないが私は其點に就て能ふだけ理解ある態度を以て臨みたいと思つてゐる」とあるではないか、又鈴木内務大臣の日本共産黨檢舉と左翼三團體結社禁止の理由の中に「日本共産黨事件の檢舉といひ、又之に關聯する此度の結社禁止といひ、共に政府は之によつて社會運動の正常なる發展を阻止せんとするものではありませぬ……」とさへ述べられてゐるではないか。

然るに教育者が教育の範圍に於いて事を論ずるに當つて、例へばそれが教育會の改造のためでも、社會教育問題のためでも學校教育の如き教育問題を中心として痛論痛斷すればとて之等に禁止を命じたり、中止を強要するが如きは、甚しい言論の暴壓的迫害であると謂はねばなるまい。殊に滑稽なお芝居は、學校でも團體でも、委員とか役員とか謂ふ一種の形式に執着して、それ以外の役なしが差しで口を差し出口することは恰も違憲であるかの如く咎めたるため、若い純な教育者たちはそれが窮屈なる社會的儀禮であるかの如に悪いあきらめをつけて忠實なる進言をさへさし控えるのである、これらは輿論に忠實なれと言ふ理解が一般に乏しい罪である、假令、またそれが埒外の立場

きてをるのでないことを知らなければならぬ、何故なれば今時の官僚意識は本本的であり人格本位であまり指導主義であつて徒らに形式のみに泥んで不合理の裁きに出る如きことは決してあり得ないからである、特に教育者出身の官吏であれば、更に深い理解と厚い同情とをもつて凡てを觀てをることは確である、故に私は勧告する、今後は若き教育者と雖も進んで官僚に親しきをもつべく接近することである。

さりながら此に二つの注意すべき事柄がある、其の一は官邊は「言葉」の世界であることです、「言葉」その物に生命を托して責任行動をする、責任回避も實はそこから忍びこむのであるがともかく一語一言に責任を帯はせるため譬へばさう言はなければ言論政治のお上みなり、議會なりのおさまりがつかないと云ふが如き場合は大小共にあるのであらう、畢竟言語の上に(理想假に理想と言ふ)を築き上げようとする傾向が強いため(何にがさうさせたか)往々現實に遠ざかることがあつてそこに自然大きなキヤツプが生じます。

よく昔風の官僚が言葉尻を捉へて彼是と無理らしい咎め

の說としても参考として聽取する程の雅量をかいた非紳士的な狐狸的解釋に因するからである。

併し乍ら彼等優越漢と雖も、その片言隻語が財閥なればこそ、堂々たる輿論としてきゝ入れる喜劇を演ぜしめらるるのは如何にも笑止の沙汰であります。私は或時、共産主義者の公判を傍聴したことであつたが、私をして意想外の感を深めたことは、公判廷はいとも嚴肅極りなき者であると言ふ先入觀念が裏切られたことであつた、勿論法官の態度は威嚴その者であるが、その威嚴の中に滲え漲れる温雅と人情味とは、被告の心情の平靜をかき亂すが如き外部的一切の衝動をさけるに十分であり、被告をして正常に所懐を吐露せしめるに格好のものであつた、數々の訊問後に於いて更に法官は一層やさしき態度を被告にむけて「君の今後の考へとしてこの問題の批判なり希望なりを述べてみよ」と促されたことであります。

峻嚴其の物ともみるべき司直に於いてさへ、意思の自由發表を尊重してゐることに較へては、何故教育者は聾啞の世界を杖なしに歩まねばならぬといふ理由が何處にあるかそれが所謂官僚主義だと謂ふならそれは昭和の官僚から

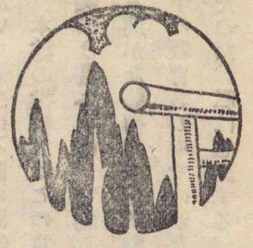
だてをしてみたり、馬鹿げた愚かな三段論法の責遣具をつかふのはここらきてをる、之はともすると現實に疎い官僚の短所である、恰も國際聯盟がそれである第十一條の不戦條約は聯盟の理想なのである、だが日本は現實と角觸してゐる。日本に初めから理想的の注文をする所に無理がある、そこで理想と現實との距りを接近させようとするのが日本側の提案たる調査委員派遣案である、よく考へてもみ給へ、あれ程の世界の智者の政治家たちの集りてさへ最初からさうと考へ到らなかつた、考へてゐても實行しようとしなかつたことは、如何にブリアン議長やセシル卿などが理想主義者のコチ／＼であつたかが知れる、この點から考へても所謂世間不知の上官殿がや／＼すると官僚一途の釋義に陥るのは當然であります。

第二は秩序の世界であることである、現物取引は双者の間に鼻が速い、言葉の取引にはその言葉の確實性を認めるため澤山の盲判が必要となつてゐる、一語の責任の裏書に裏書をされるには秩序が必要になつてくる、それ故秩序なきは官規の紊亂であつて、この又秩序が階級意識を生ずる基となる、それ故秩序は責任を正すための階級意識であつて

官職の權威をふり翳さすための階級意識でないことを知るならば、階級の存在を奉持して官職の尊嚴性に絶大の服従を拂はねばならぬことも分る筈である。

然るに若き教育者は動ともすれば階級其の物に對して無駄な反感を抱き反抗心を高むるが如きは、全くナンセンスと謂はざるを得ません、但し官職と、人とは別論である。

かゝる類似した事柄は枚擧の限りでないが、それらの中反感的事實として首肯ざるべきものがあつたとしても、それは事の一方的見解であつて即ちその一面には同僚、長上官廳なりの好意的老婆親切が盛られてゐることを考へおとさぬことである、殊に教育界ほど官界、實業界に比しては最も自由で公平で上下の關係が無拘束である社會はないのであるから、かくの如き些末の事柄が思想悪化の因をなすべきものでもなく、又因とすべきものでもなからう、若しありとすればそれは如上の私的のものではなくして、社會對個人、教育對社會の問題である、以下吾人は筆を清めて更に馬を論陣に進め教育者としての防禦の第一陣地を築き之を死守するに勇敢なる態度を取るべくお互に考慮したいものである。(つゞく)



編輯 歲末記

Y S S 生

○懸賞發表豫告の本號 は次の理由に於いて、新年臨時號に變更した。

- 一、審査員年末多忙の都合
- 二、新年記事として當選者各位に祝意を表したきため
- 三、臨時號に變更のため

○本號は珍らしい會根理事が一大獅子の論文を寄せられ、吾人の前途に對し、激勵と高教を興へられたことは、信に感謝に堪えません、氏は宿痾未だ癒えずして曩頃引退せられたことは、教育界を擧げて遺憾とした處でありましたが今後幸に悠々自適靜養の中に、君が往年を追憶して、吾等の先覺として高邁なる指教を賜はらんことを會員一同の翹望して止まざる所であります。

○本月號は四月以降中、最も出色のものであると思ひます

が、即ち、文學士山口幸之助君の「新教育運動」猿田恵子さんの可憐な「在米通信」などの内地離れのものから、經濟講座の新設があり、大きい所では小川修平君の「反宗教運動批判」があり、教育方面では杉山獺君、熊澤君、諸石君など、筆たしやにかゝれてゐる佳作ぞろひである。

文藝欄をみれば最近のSS生の俳句が眼につく、同じき世相諷刺詩の秀吟は頗る振つたものである。

○寄書家各位に感謝 物平を得ざれば即ち鳴る、人各々その性能に應じたむき／＼の活動をしつゞけてをる限りに於いて不平はない筈である。

活元外部に發せずして内にこもれば、悶々の情いやまして不平、不満がのち遂に爆發する、内肛なからんと欲せば鬱氣の發散に限る、そこに歌あり、詩あり、書があり、音

樂があり、舞踊がある、かくて明るい世界が開けて行く世間を明るく賑やかに導くことが發表機關の使命である。吾等は窮屈なことは生來の不得意である。

社會を明るく、賑やかに喜ばせて、生き／＼とさせて行くことは尊い道徳である、吾々は活動せずには居られない聴くべき耳をふさぎ、視るべき眼をとぢ、語るべき口に蓋して書くべき手をさへ縛られることは、何と生れ甲斐のない話ではないか、人生たつた五十年だ。

吾々は靜的道徳に生きると共に、動的道徳にも生きて働かぬかねばならぬ、醉生夢死や、その日暮しの偽善的生活に甘ずるのみでウヨ／＼と生きていかられものでない、表皮に微が生えて硬化した時脱皮に骨をれる、人は日に／＼更生し、一日に／＼新たなならざる可らずだこの意味に於いて人生は不斷の闘争である。沈靜は死の冷い墓場だ。

本誌の投稿者はこの意味に於いて、最も明るい、勇敢な美的な譬ふれば、春駒を春野にうたせて、悠々白雲に吟ずる朗かな藝術的動的的世界を歩んできたのだ、縣下五千の教育者の中でのかなり幸福な、有意義の生活をしてきたのだ、私は感謝する、諸君の御力によつて、本誌が輝や

かしく續けられたことをさうした各位の芳名を、列記してみることとする。

- 市川一夫氏(下郡湯本) 尾形隆次氏(鎌倉大正) 東郷吉太郎氏(鎌倉) 小林錠太郎氏(橘樹、高津) 小島睦治氏(津久井、青根) 足立進一氏(都筑、都岡)、 桐生賢作氏(東秦野) 高橋高氏(高座明治) 小泉宗光氏(津久井、青野原) 石川日の出氏(山内第一校) 五十嵐米八郎氏(平塚) 中村佐登壽氏(高座、旭) 藤枝辰三氏(藤澤明治) 松澤由良氏(都筑中川) 杉山勲氏(愛甲煤谷) 貞廣一燈氏(横濱) 並木常藏氏(横濱) 瀧澤又市氏(横濱) 山口幸之助氏(横濱) 曾根藤三氏(愛甲) 熊澤三四郎氏(下郡湯本) 小川修平氏(名倉) 諸石傳之助氏(鎌倉小坂) 谷川半次氏(女師) 山崎篤敬氏(第一高女) 星谷光雄氏(茅ヶ崎)、 大谷武雄氏(高座、大澤) 荻田稔氏(縣廳) 中村壽郎氏(平塚第一校) 二宮完造(津久井内郷) 岩末岩次郎氏(下郡、吉濱) 龍山親祇氏(横濱) 内海健兄氏(横濱) 八城友雪氏(都筑高田) 安藤爲次氏(都筑中川) 難波精一氏(高座寒川) 朝倉重治氏(下郡小田原) 小林鶴藏氏(都筑、田奈校) 磯崎源藏氏(下郡函嶺) 小

### ○會計係からお願ひ

職員録又は雑誌の代金等は、當方に於いて決めました納期迄に送金をして下さい。例へば前々年度の職員録代金で未だ不納なのが三十件ある如きは整理上全く困るのです。勿論、事務がお忙はしいため、時々思ひつかればするが、復、忘られる。此方でも、時々氣づいてみるが、復、忘れます。それで督促に督促が延び／＼して、重ね／＼たまるのですが、處が此方から御注意申あげようにも、非常に事務員が手不足なので、なか／＼繰返してをられないのです、どうかその邊をお察しを願ひます。ついでには納期を次の通にお願ひしたいと思います。

一、**本年の職員録代金** は整理上大變困ります。至急御送金を煩はすこと、お送してある振替口座用紙を御使用下さい。

二、**教育會雑誌代金** は其年度一月内に御送金を煩はすこと、勿論それ以前に前納して戴くにこしたことはありません。

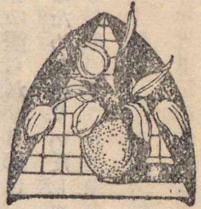
それで本年分は來年一月になつたら振替用紙をお送りして御請求にかへることに致したいと思ひますから、豫め合みの上宜敷お願ひいたします。

- 菅一男氏(第一高女) 三木葉影氏(横須賀) 秋元秀雄氏(三浦大津) 石井與惣太氏(下郡前羽) 山田三朗氏(鎌倉大正) 石野瑛氏(横濱) 今井忠宗氏(縣廳) 植木利治氏(中、南秦野) 市川銚之助氏(都筑義胤) 齋藤篤太郎氏(橘樹高津) 遠藤政文氏(高座、田名) 名取重坪氏(高座明治) 東哲彦氏(高座有馬) 熊澤忠夫氏(茅ヶ崎) 小島峰吉氏(小田原第三) 其他懸賞應募者各位

更に私は懇願したい。  
吾等の意氣は飽くまで縣教育の舞臺を擔いて猛進することである。縣教育は吾等の物である、吾等の解決すべき問題は山積みされてをる。

吾等の奮闘の前途に打破るべき鐵の扉も横はつてゐる。吾等の一人々々はレオニダスでなければならぬことだ。

最後に、歳末多端の折から、幸に自愛自重せられて、新春の麗らか初日影に、滿腹の慶を共に分たんことを、邦家のためお祈りいたします。



# 唱歌科研究協議會速記

## 河邊 議長

本日唱歌研究会を開く事になりましたが、開催に當り兩師範學校附屬並に縣下六郡の方々が御出でになり、この研究会を開く事になりましたことを喜ぶものであります。又田村先生の御來會をえて親しく御指導くださる事は特に喜ばしき次第であります。本日は刷物にもある様に質疑、應答、先生の御指導、御批評等多くありますので進行を滑かにしたいと思ひます。この協議會は研究問題の協議が目的であるから、此れに二時間三十分要し他の方は時間が少なくなります。一番初めに學校から全般的の説明を願ひ次に講師の講評がありまして、それが終へて直ちに研究問題の協議に移る豫定であります。此れから學校よりの發表をして載せます。

## 茅ヶ崎小學校長

會場の責任者としてお禮やら、御挨拶やらを申し上げやうと思ひます。今回實地授業をせよと、縣からの命令がありましたので、經費の許す限り參觀に研究授業に力を入れて参りましたが、此の點本校としては一番利益を受けた譯であります。本日御出席の各校に

も御土産になるやうな者があれば幸と存じます。又深山先生には三年前から御指導をうけてまゐりましたが諺にも「松茸は松茸」の如く松の木にはなれず、無能の私共は先生の御指導の全部を受け入れる事が出来ませんでこの點誠に遺憾に堪えません。それで環境の影響と申しますか、兒童の心がずさんで居て例へば生物を殺すことは知つてゐても生かす事を知らぬやうなもので、加ふるに、近濱各地からの移住のため兒童數もふへはするが、いはば鳥合聚と云ふ譯であります、でありますから最も情操教育の必要を感じ、此に向つて努力し一方には勞作主義の教育を取り入れて、勤勞、愛好、體驗尊重に微力を盡して居る次第であります。何分にも短才の者ばかりで何等の御參考にもならないのを遺憾に思つて居りますが幸ひ田村先生始め各地方から御出席下さいました代表の皆様御指導、御批評を拜聴致しまして本校唱歌教育の指針と致したいと存じます。最後に遠路のところ御出下されましたにかゝらず、何等の御接待の出来ません事を深く御詫び致します。

## 茅ヶ崎小學校推野君

本校唱歌指導の方針を申し上げます。私共は少くとも各教科に於

驗によつて音楽鑑賞の能力を養ふと云ふ態度を取つて居るのであるそれで方法上としては唱歌科の基本練習就中聴覺の練習はその主要な位置を占むるものである。従來の唱歌教授を見るに聴音法は音楽的作業の所謂基本練習であるのに實際教授に當つては聲樂練習、音階、音程など行はれても主要なる聴音練習が顧みられぬ様な感じがするのである。私は實際の經驗上聴音練習を重大な音楽的作業とみるのである。この練習が不十分で本譜視唱も發聲法も或は又鑑賞方面も徹底すべきものでないのである。

## 田村先生の御批評

先程學校長、推野調導のお話にもありました通り、現在に於ては此の唱歌科が如何に必要にせまられ、其の發展を熱望して居る時であるかは周知の事實であります。かかる時に於て縣當局では頂度一昨年四日間も講習を聞いて下され又此度は此の研究授業を見せて戴きました。斯道の爲に本縣當局に向つて敬意を表する次第であります。又會場に當つた當校では多數の人が御集りの時に八學級もの授業を自由に參觀させられ且又刷物等に於きましても相當の準備研究が出来て居ると認めるわけであるが、斯くして戴いた事は當校長及び調導の方々に感謝します。流石に當校の清水校長、推野主任の發表によつても唱歌に御熱心な様子が察知せられ殊に深山先生の長い間の御努力によつてもなる程と感じさせられる所がありました。何しても唱歌では發聲が重大問題であるが、今日のを見ると餘程よい傾向に向つて居ると思ひます。此の道程には深山君の指導も可成り興つて力ある事と思ふが、教授者の努力も又多大なるものと思ひます。此れから各學年にきめて短評を申し上げますが、本校では一年

ける教授の目的を確實に把握して何處迄も眞剣に兒童教育の爲、國家教育の爲に當りたいものである。扱て小學校に於ける唱歌教授の目的は何處にあるか、一體子供は子供としての生活を生活しながら、やがて成人となるべき潜勢力を持つて居る。小學校に於ける唱歌教授の目的は此の事實に立脚したものでなければならぬ。即ち兒童に適當なる音楽生活をさせて人間本來の美的欲求を満足させ、正しい情操活動の習慣に浸らせ、音楽鑑賞の能力を養ひそして自由自己表現のできる人格へ向上を圖るをもつて目的とするのである。約言すれば、兒童によい歌曲を歌はせ、よい歌曲を鑑賞させる事によつて、兒童の音楽生活を充實させ満足せしめると同時に、兒童の有する音楽性を陶冶し、他日大人としての音楽生活の基礎をも作るといふにある。現今小學校に於ける諸教科は主要學科と技能科との二つに分けられて居る。即ち主要學科は智力を働かせなければ學習の出来ないものであつて人間の價值、力量等は此の主要學科の成績によつて示す事ができ、技能科は殆んど智力を働かすことなく學習ができてとの考へから唱歌が筋肉労働の如く取扱はれて居る。之れには色々の原因もあらうが兎に角歌ふ事が音楽教育の全部と見て、歌はせさへすれば音楽教育の目的が果されると誤解した事も一の大なる原因と思ふ。若し音楽が技能ならば算術で解法を考へ式を立て計算する事も技能であり、國語の話す事も讀む事も作文を作る事も亦技能であつて、何等音楽とえらぶ所がない。何處迄も音楽は人生への糧であるから音楽を技能科から解放して音楽の示す偉大なる恩恵に心行く迄ひたらせ人間としての生命を擴張したいのである。そこで本校では以上の様な立場に立ち、先づ唱歌科を技能科から脱出して鋭敏なる感受性を呼び醒まし良い歌曲を歌はせ、聞かせて豊富なる經

より高等科迄の八學級が一つの方針で發聲に於ても相當の成績を上げて居る事を愉快に思ふのであります。次は視唱力即ち本譜をよく見る事であるが、尋常四年の方でもよく讀めて其の理解があり、高學年に於ても然りと認めるが此は仲々今日の發表にもありません。如く絶へざる力があるものですが、此れ又相當の力をつけて御出になるのは結構と思ひます。然し先生の書いて御出になる樂譜はもう少し丁寧にしたいと思ひます。

次に樂譜に對して如何なる程度に理解して居るかであり、此れは子供が歌つて居ります状況をみますといくらかわかる。歸納的の學科は先生にまねる事に陥りやすいが唱歌を教へるにしても眞似るだけでなく眞に子供のものとなつて歌はねばならぬ。練習をする時には子供が自分のものとして感じを入れて歌はねばならぬ。本校では或る程度の理解を得させて居ると思ひます。ペタルの押し方が音を出すに十分な空氣を入れて御出しにならない方がありますが、大きい樂器はよいが小さいのは單音のときはよいが伴奏でも付けるとフウ／＼と云ふ様になる。

一番初めに一年の小林さん

發聲は一年の初めより注意しなければならぬ。もう少し軟かく歌つた方がよい。そして興味本意にした方がよい。聲を揃へて御出になつたがあの點は良いと思ふ。

次に尋二の赤木さん

子供の訓練の訓練に相當の力が這入つて居ると思はれる。先生の範奏は正しいものにして樂器の範奏であるから休止の所は休止し

子供も喜ぶでありませう。然しヴァイオリンとセロとがわからなかつたのは不思議に思ひました。五年位ではもう少し理解があつてもよいと思つた。

次に六年の菊地さん

掛圖等も大分よく學年相當のものと思ふ譜を書く時にもう少し正確に書いて示した方がよいと思ひます。

次に尋男の天野さん

フラットの棒が短かかつた。八分音譜の釣も正確にした方がよいと思つた。音譜ばかりの時はスラーの必要ない。我々もよくエーと云ふ事をつかふが此處の子供にもそれが多い様だがどんなものか

次に高等科の畠田さん

此れは學年相當に力がついて居ると思ひました。アルトの聲には注意せねばならぬあの中には聲に大人のアルト式の聲が出て居ましたが子供のアルトはあまり強くしない方がよいと思ふ。息を繼ぐ所には息継ぎがあつた方がよいと思ふ。たいへんよく指導して居られる様でした。

議 長

研究協議に這入る前に申し上げますが、時間が少いのに澤山の收穫を得んとするので其の積りで御願ひ致します。質問協議は明瞭に且要領をつまんで御願ひ致します。提出者に御説明を願います。

の方がよいと思ふ。歌い方發聲に於きましても相當の努力が何はれます。

次に三年の草野さん

發聲は先づ無難であの位に行つて居れば良いと思ひます。韻律の變つて居る所を知らせ様として假名譜をつけてやる事は工夫を要する問題です。掛圖等ですが先生の努力によつて出來た教便物の方が一層よいと思ひます。

次に四年の椎野さん

發聲はあの位で結構と思ひます。此の組がやつて居つた村の銀治はトンテンカン／＼を外につけ内につけ合唱的にやつて御出になつたがあれは面白い。此の組等は讀譜力が付いて居りますが餘程の努力と思ひます。

次に五年の金子さん

此れは頂度鑑賞教育の所でヴァイオリン等聞いて居る所でした。此の鑑賞の一部面でありませんが、獨、佛では殆んど鑑賞教育であるが又さうなるべきである。要するに子供達に音樂と云ふものを味はせて行くと云ふのである。鑑賞教育をするには教授者がある程度の理解を持つて居らねばならぬ。子供には大體あんな様なものだ説明して置くのでよいと思ふ。感想發表は充分にさせねばなりません。先生の發問に答へられない様な發問をされた所がありました。此れは考へて戴きたい。又先生が曲に對する理解がないと子供の發表をまとめて行く事は面倒だと思ひます。然しあの位におやりになれば

鈴木君 (愛甲、清水)

御説明申し上げます。近頃唱歌教授の發達と共に該科鑑賞の問題が又なか／＼やかましい又一面實際教授上に於ける鑑賞の問題も充分考へて置かなければと考へまして提出いたしました次第です。よろしく御指導を願ひます。

原君 (中、大磯)

先づ第一に撰擇の標準、例へば情操教材に對して、どの位の程度に細目と並行して行くのか、次は教材の系統それはどんな教材をどんな風に配列したらよいのか、その點について困つてゐる次第です。その二つの事項に對してお聞きしたい。

椎野君 (高座、茅校)

只今の御質問については文部省の教材配當の程度に應じて、配列したらどうかと思ひます。それ以上のものに就いては器樂、レコード等の鑑賞について進み行進曲とか、描寫樂等に就いては漸次その程度を高めて行くと思ひます。

松本君 (下、前羽校)

鑑賞教授といふ言葉は鑑賞を一元的のものにして云ふのであると思ふ。レコード鑑賞についての席上で一朝一夕に論議し解決することとは出來ないから、本日は田村先生にお願ひしてその他の議事に就いて協議を進めては如何。

田村先生

鑑賞教材を系立立てることはむづかしい。即ち先生がひいたり、

歌つたりして鑑賞をすゝめて行くのが普通ですが、歌ふことゝ鑑賞とは別問題で、先生が歌つたりひいたりするのによい程度の高目のものになるとレコードに依るのが普通である。この鑑賞教材にも細目をつけるのであるか、是は歌ふのではなくて、聴いて味ひ鑑賞するのであるから歌謡よりズット程度は高くする。そして理解のみで行くこれは各學年に配當するやうに用意がしてないが年を追ふて研究することにする。

議 長

この問題はこの程度に止めたい。

毛利君(厚木校)

折角愛甲郡として提出し、何とか良い案を得て歸つてから實際教授の上に資したいと思ひますから、此の程度で打切らないでもつと御協議を願ひたいと思ひます。

議 長

後ほど田村先生の御指導を仰ぐとして次に参ります。

二、唱歌科=用フベキ歌曲及其ノ他ノ資料ハ廣汎ニ渉ルヲ以テ教授者ハ常ニ適當ナル教材ノ撰擇ニ苦シミツツアリ爲ニ學校ニヨリ教材區々ニシテ兒童ノ實力モ亦著シキ相違アルヲ認ム、之ヲ救済スルノ適當ナル方案ナキヤ。

原 君(中、大磯)

唱歌に於て取扱ふ資料は多い樂典その他に就いて、或はお話に就

いて等非常に多いが歌詞、樂譜のみに於てもその數數千に達してゐます。人に依つては本に依つて色々學説があり、その撰擇に苦しむのです。歌詞、説話等の資料に至つては殆んど無限にあつて、甲校乙校の取扱ふ資料に就いて相異があり樂譜に於いても違ふのです。甲校に於ては鑑賞を爲し他校では此の鑑賞さへやつてゐないといふこともしばしば耳にします。殊に本縣にてはそれが色々になつてゐます。若し甲校の生徒が乙校へ轉校すると乙校では全く樂譜も鑑賞もやつてゐないで、唯軍歌位を歌つてゐるやうな場合之を他の學課について言へば算術をやる時、尋一に於て乙校の生徒は二十以下の數へ方が出来ないにも關らず、甲校では既に出来てしまつてゐるといふやうなそんなことはないか。唱歌に就いてはその相異が甚だしい。つまり學校に依り學級によつて非常にまちまちである。この問題を解決せずして、やれ鑑賞の何のと云つてもそれは闇夜に提灯なしで歩くやうなものである即ち机上の空論になると思ふ。

大谷君(下郡、須雲川)

下郡として之に似た問題を希望事項に掲げて置きました。検定済の歌詞、歌曲の撰定について指示を仰ぎたいと思ふので提出した次第であります。丁度此の問題が中郡提出の問題と同一のものやうな感じがしますので申し上げたいと思ひます。最近どんな教材にもうなづかれるのは郷土的色影といふことである。東京と田舎では兒童の環境や智識の程度がちがふ。これを救済するにはどうしても縣としても豫め定めて置くことがよいと思ふ。

最近神奈川県唱歌集等兒童に持たすべきものを學校で買はせてゐるところもあるが、之は下郡だけではないであらうと思ふ。併しそ

の内容は検定済として廣然としてゐるにも關らず、我々の實際教授上には検定済でないものを採用してゐる向も可なり多いやうであるところから、最近それ等に對して注意があつたやうであるが誠に宜なることである。如何なるものが認定済か、検定済かそれを吾々は知らない。主任でも知らない吾々は多くの教科を研究しなければならぬので唱歌の研究にのみ没頭して居ることを許されぬ。それ故歌曲でいへば吾々が使つて宜しいものから撰んで一般學校として撰定して教材として取つたらよいと思ふ。現在非常に我々がこれ等の解決の爲めに要求するのは研究機關である。この研究機關が團體的に出来てゐないことも吾々實際家が迷ひ、従つて唱歌教授不振の原因となるのであると思ふ。歌曲にしてもその他の材料にしても要は縣に於て相當の撰擇的な方法を探つて頂き度い。尙希望事項は後に撤回するが我々はあくとした功利的な歌曲集を排撃する必要がある下郡ではそれ等を排撃する件として出したが排撃といふ言葉が妥當を缺くと思ひましたので、斯様にして出した次第であります。兎も角我々はそれ等を排撃する力強い教授者でありたい。そして斯うしたことを協議會で確定され度い。

椎野君(茅ヶ崎)

中郡と下郡との問題に就いて申し上げますと、何の教科にしても郷土的といふことが叫ばれてゐるが、唱歌に於てもやはり同じであると思ふのです。それで唱歌教授に於ても充分考慮し郷土に立脚して進展せしめたいと考へます。又教材の標準をどこに置くべきかといふ御意見については文部省の唱歌集に標準を置くべきであらうと思ふ。各小學校はそれで細目をたてるのが適當であつて大きな地方

ではその地方々々で研究協議して作成することがよいと思ひます。最近各方面で文部省の唱歌集が無味乾燥であると稱されてゐるが、一方兒童の心理發達の程度からいへばその歌詞歌曲は非常によく撰擇されてゐるに斯様な適當なものが見當らないのであります。そこで鑑賞補充の意味でならば吾々が常識的によく熟考した上で害のないものを取つたらよいと思ふ。要はその學校に於て細目を編纂する他はないと思ひます。

原 君(中、大磯)

方々から種々い御意見がありました。この問題は可なり大きな問題であるから、結局どうしても文部省の方に於て唱歌の方面に色々なことを改正されなければならぬと思ひます。文部省でも最近改正なさるとのこと承つて居ります。唱歌科に於てこの問題を解決しなければならぬ譯は他の教科では確然たる教科書がありその最少限度が示されてゐるが文部省の唱歌集は單なる教材集でありまして、どの程度まで歌曲とか歌詞とか鑑賞とかいふことに就いてその取扱ふ事項が明示してない。それ故學校に於て熱心であるか不熱心であるかによつて違ふしそれによつて、兒童が伸びる伸びないといふことになる。そこで吾々は此の缺點を補ふ意味で割合にゆとりのある教科書を作つて頂いて教授の準備をすることがよいと思ふ。さうすればそれによつて最低の目標が明らかになり、教材の撰擇もその中からえらば極めてよい事と思ふ。又その間に教授者は實力の向上をはかるやうにすればよいと思ひます。教科書がないと今までのやうに唱歌の時間を手工にしたり、算術にしたりすることがなくなるであらう。要は教科書があればよいといふのであつて實際



教材の撰擇がめんどうくさいからといふ見地に立つて聞き覺えたものをそのまま教へてしまふ否おしつけてしまふことになり、或は軍歌のみを教へることになると思ふ教科書を與へればそれを防げると思ひます。

椎野君(茅ヶ崎)

御意見の内容は成績のまち／＼になることを懸念されることゝ思はれます。いくら教科書を作つても取扱ひ方法が違へば成績の違ふのは當然です。又御意見の中に文部省では取扱ひの方法指導の方法をつけなければならぬことですが斯様なことが實際問題として考へたときに文部省で出来るであらうか。要は我々が忠實にその取扱ひ方針を定めて置かねばならぬと思ふ次第であります。

田村先生

現今の教科書は法令によつて定まるもので議會の協議を経なければならぬ。私等は感情を主としたこの教科書を作つた方がよからうか唯標準を示した方がよからうか。といふことについて常に考慮をしてゐる問題でありますが文部省の唱歌集も教科書風のものでありますよ。之を用ふればよいのです若し縣の方で出来るならば委員制度によつて歌曲、説話等を一般的に出来ればよいと思ふ。併し實際に運用するには郡や學校での單位の研究作成がよいと思ひます。せんじつめて見れば矢張り各校に於て土地の状況兒童の程度を基調として細目をつくとよいと思ふ。どの學校でも細目があつて之を遵守してやつて見て翌年之を改正すればよいがこれは少ない。併し委員制度があつて年々悪いのを取換へて行けばよいと思ふ。

るものである。

田村先生

今後は認可は許さぬことになりました。即ち校歌及びその地方に特に關係あるものはよいが一般のものは認可出来ない。今まで認可したものはよいのであります。

原君(中郡、大磯校)

私の考へるのは教科書を教材集といふ意味でなく、樂譜等が含まれた理科の教師用と言つたものを御撰定願ひたい。

田村先生

文部省の唱歌集の改正は圖書局が廢止されて運れる事と思ふ尋常科のは最近改正になります。

茅ヶ崎校長

この問題は全部の方々の問題であらうと思ひます、それが爲めに各人の信頼出来る細目の編纂が必要であらうと思つて、今回本校でも教案代用の細目を作りました。それに多くの補充教材をつけ加へまして大分大きなものとなりました。其騰寫を大氣堂に注文して本日午前中には完成到着することになつてゐますがまだ参りませんそれを是非皆様に差し上げて御批評を願ひたい次第でございます。

議 長

縣の方で研究してもらひ度いと御希望は本縣としては、教育會に依頼することになるかもしれぬが縣としては出来ない。午前中の協議はこれを以て終了し午後一時十分から始めます。(つゞく)

守屋視學

下郡から出てゐる希望には民間に出てゐる唱歌集について心配があるといふことであるが、この點については法令上から云へば、從來にはなかつたが最近法令の改正された學事類纂には第五十三條に規定されてゐる。併し歌詞については明瞭でない。即ち之を讀み上げると

小學校教科用圖書中、修身、國語、算術、國史、地理、理科、家事、圖畫ヲ除テ其ノ他ノ圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及ビ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ府縣知事之ヲ採用ス。但シ體操、裁縫ハ手工及尋常小學校第四學年以下ノ唱歌ニ關シテハ兒童ニ使用セシムベキ圖書ヲ採定スルコトヲ得ズ。又國語、書キ方、算術、理科、家事、圖書ノ教科用圖書及小學地理附圖ハ小學校長ニ於テ之ヲ兒童ニ使用セシメサルコトヲ得

之では不充分である爲め此度第五十三條の二として加へられた事項がある。それは九月十日の官報で發表されたが未だ新しいので知らない人が多いと思ふ之は

「唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ハ文部省ノ撰定ニ係ルモノ前條ニ依リ府縣知事ノ採定シタル小學校教科用圖書中ニ在ルモノ及其ノ採用小學校ニ特ニ關係アルモノニシテ府縣知事ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケタルモノノ外採用スルコトヲ得ス」

である。改正の趣旨は下郡の意見にもあるが、全國的にさうであつた。從來神奈川縣に於て認可を受けたものはどの縣でも使用出來た。それがこの弊害をかましたのでそれを除去せんが爲めその二が附加されたものである。校歌は神奈川縣知事の認可を受けた主な

滿蒙に於けるこの排日行動を見よ(五十五頁より續く)

五、森林事業壓迫 條約によりて得たる森林事業に従事するの權利を實際に封じた、其爲め數個の會社は其事業を中止せざるべからざるに至り、辛うじて存立するものと雖も、官憲の妨害不當課税等の爲め經營困難におちいつてゐる。

六、鮮農壓迫 朝鮮人は國境を越えて主として北滿各地に移住し來り、北滿一千萬町歩の水田は悉く鮮人努力の結果である。支那人はその努力を傍觀し、美田拓けて漸く收穫を見るに至るや、忽ち壓迫して搾取し沒收するのである。

七、鐵業壓迫 撫順に於ける石炭採掘權は、日本が露國より引繼ぎ、爾來八千萬圓の資本と近代技術の粹とを盡して努力經營し來り、在滿各國人の生活に工業に、あらゆる福祉を齎したものである。而してその輸出税は協定によつて明示されてあるに拘らず、支那は一方的に之が二倍半の増額を行ひ、又日本の技術者の心血を瀉ぎたる研究の成果たるオイルシエール事業の奪還を企てた。其他滿鐵沿線に於ける鐵山經營を日支合同とすべきであるが、奉天省政府は省内鐵業悉く支那官民合同經營とするの布告を發し、着手の鐵業に對しては不許可を以て臨みつゝある。

八、支那は日本が抗議を無視し、排日貨を以て之を牽制し、斯くて奉天總領事館に山積する諸懸案三百餘件は徒に支那官民毎日の態度を助長することにのみ役立つた。



# 教育會 情報

## ○指定用筆及裁縫學習帖の件

七月二十二日附で全縣各小學校宛、首題について御高見の程を御照會申しあげました所、早速にも平素の御施設なり、御希望なり、御研鑽の御所懐を、懇切にお示しに預りました點を厚く感謝いたします。

其の後、各位の來旨を帶して製造販賣元と交渉をかさねましたが、以前の學習帖の販賣成績がはつきりして居ないので、毛筆の如きは果して各位の御希望に副ひ得るや否やに幾分の懸念もあり此に一頓挫をいたしてをるのであります。

裁縫學習帖の如きも、同じやうな理由の下に未定のみであります。

併し乍ら、つい最近あつた六大都市市視學會議に於いて

も、兒童學用品統一の申合せがあつたやうにきいてゐますが之は單に費用ばかりの問題でなくいろいろな意味に於いて統一の必要はあるものと信じますが、折角統一の實施に着手してみても、全般的に理解のとほらない限りは勞して効なき結果を産み出すことにならぬとも限らず、今少しお互に考をねつてみたいと存じてゐます、それでできるだけ適當の速進案あらば更に御示教に預りたいのであります。

尙左記各校に對し、御回示の煩勞をおかけしたことを重ねて感謝致します。

### 左記

- 久良岐郡 六浦莊校、金澤校、
- 足柄下郡 小田原第一校、早川校、溫泉校、南足柄校、真鶴校、下府中校、仙石校、大窪校、
- 愛甲郡 南毛利校、宮ヶ瀬校、高峯校、三田校、厚木校、半原校、中津校
- 足柄上郡 山田校、松田校、矢倉澤校、川村校、中村校、共和校、金田校、福澤校、清水校

## ○青年國語讀本編纂資料

### 蒐集に關して

編纂資料の蒐集に關して、左記學校長各位に御迷惑を願ひ出ました處、幸ひに御快諾を得まして蒐集の御足勞を煩はしましたのみならず、御寄附を戴きましたことは本會として誠に感謝に堪えません、慎んで一言御禮を申上げる次第であります、

- 足柄下郡小田原第一小學校長 星野 増 藏氏
- 同 下曾我小學校長 三橋 藤 藏氏
- 同 函嶺小學校長 石井 與 惣 太氏
- 同 仙石原小學校長 中村 隆 三氏
- 同 片浦小學校長 杉 山 清氏
- 高座郡小出小學校長 梅 澤 暹氏
- 都筑郡都岡小學校長 白井 喜 久氏
- 久良岐郡金澤小學校長 森田 浪 太郎氏
- 三浦郡走水小學校長 吉 永 俊氏
- 同 久里濱小學校長 高橋 眞 太氏
- 同 三崎小學校長 青木 勇 次郎氏

外郡及校名もれ一校

- 橋樹郡 鹿島田校、宮前校、駒林校、
- 川崎市 大師校、玉川校、田島校、川崎校、旭町校
- 横須賀市 諏訪校、山崎校、鶴久保校、田戸校、坂本校
- 三浦郡 大津校、西浦校、南下浦校、長浦校、田浦校、浦郷校、葉山校、浦賀校、逗子校、初聲校
- 中 郡 金目校、金田校、土屋校、國府校、城島校、大野第二校、大山校、東秦野校、成瀬校、大磯校、神田校、吾妻校、吉澤校、岡崎校、
- 鎌倉郡 玉繩校、正修校、深澤校、本郷校、川口校、永野校、村岡校、豊田校、戸塚校
- 都筑郡 山内第一校、都岡校、山内第二谷本校、鐵校、今井校
- 高座郡 松林校、寒川校、鶴嶺校、麻溝校、大澤校、六會校、藤澤校、明治校、上溝校、座間校
- 津久井郡 中澤校、三井校、共育校、申川校、川尻校、名倉校、菅井校、共勵校、青根校、桂比校、
- 湘南校、



### ○横濱市兒童研究所設置

横濱市は多年青少年職業指導につき研鑽を重ねつゝあつたが、愈々究極の具體的設備として兒童研究所の設置をみることになつた、元來、都市の如き複雑なる生活組織にある各種の職業の下に青少年を適確にさしむける事は、最も重要事にして最も至難のことである。

此に學校觀察以外に心理學的、科學的にその特殊性なり個性なりを検證し、職業指導選擇の參考資料とすべき必要がある。

其他、教授、訓練の進展に於いても、兒童其物の研究に一層の注意を拂はるゝは、もとより教育の成績向上に缺く可らざることである。

聞く處によれば、所長は水島教育課長、理事は、社會主事、衛生主事、視學、講師等を網羅し、研究員は二十五名、市内各校より選任もする事とし、委員は校長全部外に各校一名宛任命することである。

顧問としては左の諸氏に依頼すること。

文部省社會教育局長關原龍吉氏、東大助教授青木誠四郎氏、十全病院長片山久壽頼氏、横濱商工教授三井透氏などである。

因に兒童の個性検査に就いては、市外と雖も廣く一般の依頼に應ずると云はれてゐる、同所の規程は左の如し。

#### 横濱市兒童研究所規程

- 第一條 本所ハ兒童ノ精神及身體ニ關スル研究調査ヲナスト共ニ、ソノ教養、保護等各種ノ事項ニ就キ必要ナル施設ヲ講ジ以テ兒童ノ福利ヲ増進スルヲ目的トス
- 第二條 本所ハ事務所ヲ横濱市中區山下町二三番地横濱市立教員講習所内ニ置ク
- 第三條 本所ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲メ當分研究、相談及職業指導ノ三部ヲ置キ左ノ事業ヲ行フ
  - 一、研究部。兒童心身ノ發達、個性ニ關スル諸問題ノ理論的並ニ實際的事項
  - 二、相談部。一般精神發育ノ診斷、性格異狀兒童鑑別、學業成績其他兒童教養一般ニ關スル事項
  - 三、職業指導部。職業指導教材、職業分析、職業紹介等ニ關スル事項
- 第四條 研究、相談及職業指導ノ各部ノ事業實施ニ關スル細則ハ別

馳せ參ずる健兒のそれ／＼の陣地に詰めかけしは、午前九時ころであつた。

戦闘開始は九時三十分、貝殻山を中心にしての後方たる藤澤町は今や兩軍の接戦酣なるものと、兩軍の一般方略としては兩軍一部の先遣部隊は互にその南翼を以つて東西より海岸に迫り來り、貝殻山の南面、沿岸の廣濶地に於いて逢遇し互に銃火を交へる二十分、そして兩先遣部隊の突撃戦は時に十時十分であつた。

十時四十分兩軍の飛行機は、陣地の上空を盛に飛翔して偵察を行ひ、友軍への通信をなせるものゝ如く、忽ち東軍の左翼部隊は日の出川方面より松林の間に姿を現はし大部隊の散兵展開をみせて西軍に迫り來る、西軍は作兵衛山方面の砂丘により敵を下瞰して盛に平地の東軍に猛射を及びせかけたり、西軍歩兵の戦闘激烈なるに、上空よりの爆弾はそこ／＼に落下してものすごく爆發し、毒瓦斯は今や貝殻山北方一帯をかすめ、機關銃の爆音は頻りに心膽を寒からしめた、かくて兩軍前進に前進して十一時頃に決戦突撃に移り、休戦喇叭は吹奏せられた。

十一時二十分、演習地を引きあげて、鶴沼の「海の上」附

ニ之ヲ定ム  
第五條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長 一名

理事 若干名

研究員 各部若干名

委員 若干名

所長ハ本所ノ施設、警備ニ關シ之ヲ統括ス

理事ハ所長ノ命ヲ受ケ本所ノ施設、經營ノ任ニ當リ研究員ヲ指導ス

研究員ハ専ラ研究、調査及指導ノ任ニ當ル

委員ハ研究、調査及指導ヲ援助ス

第六條 所長ハ市教育課長ノ職ニ在ル者之ニ當ル

理事、研究員ハ所長之ヲ委嘱ス

委員ハ市立各小學校長及各校一名ノ學校長推薦者之ニ當ル

第七條 本所ニ於ケル研究指導援助ノ爲メ顧問若干名ヲ置ク

顧問ハ學識經驗アル者ヨリ所長之ヲ推舉ス

第八條 本所ノ研究物ハ之ヲ紀要トシテ發表ス

### 湘南の野に展開せる聯合演習

縣下中等學校二十五校二千四百名の健兒と、海軍飛行機海軍機關銃隊の參加を得て、十一月二十四日、高座郡辻堂を中心に東西二里に亘り兩軍の對抗演習が行のはれた、この日、前日からの曇天に、強風寒く肌を貫す中を、東西より

近にて、晝食を喫し、一時間休憩。  
午後一時より閱兵、分列式、知事代理九鬼部長の訓示、當日の審判官富士井中佐の講評あり、午後三時全く終了を告げた。

### 新尋常小學唱歌講習會要項

#### 講習其他實施事項

- 一、本會新作新尋常小學唱歌第五、六學年歌曲の練習及取扱方並に發聲法の指導
- 二、編纂の趣旨及歌詞の説明
- 三、ピアノ練習

#### 講師

- イ、唱歌及發聲法  
東京音樂學校教授 船橋榮吉  
同 上 澤崎定之  
ロ、ピアノ  
東京音樂學校教授 貫名美名彦  
同 上 田中規矩士  
同 助教授 山田菊江  
ハ、講演  
開會の辭及歐米に於ける兒童の唱歌教育に就いて

#### 會期

自十二月二十五日 自午前九時  
至十二月二十九日 至午後四時  
但し十二月二十九日は正午迄

#### 會場

東京音樂學校  
師範學校教員及小學校教員 名

#### 講習員

- 一、講習科目の一、二(必修)を受講するものは 金五圓
  - 二、講習科目の三(隨意)を兼修するものは 金七圓
- 注意 ピアノを兼修するものにして初學者はバイエル著ピアノ教則本を、稍々進みたる者はチェルニ一又はソナチネの數曲を練習し來るを要す。

#### 申込方法

職、氏名、男女別を明記し會費を添へて十二月十五日迄に申込むこと。申込受付と同時に聽講券を送付する。一旦納付した會費は如何なる事情があつても返還しない。定員に滿ちた

東京音樂學校校長 乘杉嘉壽

新尋常小學唱歌第五、六學年の編纂について

武藏野音樂學校校長 福井直秋

日本教育音樂協會理事

東京音樂學校講師 近藤忠義

新尋常小學唱歌第五、六學年の歌詞について

#### 宿泊所

場合は期日前でも申込を謝絶する。  
希望の方には適當の箇所を指定する。  
昭和六年十一月

主催 日本教育音樂學校

東京音樂學校内

振替東京三六〇八三

後援 東京音樂學校

### 新幼稚園唱歌講習會要項

#### 講習其他實施事項

- 一、本會新作新幼稚園唱歌歌曲の練習及取扱方並に發聲法の指導
- 二、編纂の趣旨及歌詞の説明
- 三、ピアノ練習

#### 講師

- イ、唱歌及發聲法  
東京音樂學校教授 船橋榮吉  
同 上 澤崎定之  
ロ、ピアノ  
東京音樂學校教授 貫名美名彦  
同 上 田中規矩士

#### 會期

自十二月二十五日 自午前九時  
至十二月二十九日 至午後四時  
但し十二月二十九日は正午迄

#### 會場

東京音樂學校  
幼稚園保母及小學校教員 百名

#### 講習員

- 一、講習科目の一、二(必修)を受講するものは 金五圓
  - 二、講習科目の三(隨意)を兼修するものは 金七圓
- 注意 ピアノを兼修するものにして初學者はバイエル著ピアノ教則本を、稍々進みたる者はチェルニ一又はソナチネの數曲を練習し來るを要す

#### 申込方法

職、氏名、男女別を明記し會費を添へて十二月十五日迄に申

ハ、講演 同 助教授 山田菊江

開會の辭及歐米に於ける兒童の唱歌教育に就いて

東京音樂學校校長 乘杉嘉壽

新幼稚園唱歌の編纂について

武藏野音樂學校校長 福井直秋

日本教育音樂協會理事

東京音樂學校講師 近藤忠義

新幼稚園唱歌の歌詞について

宿 泊 所

希望の方には適當の箇所を指定する。  
昭和六年十一月

主 催 日 本 教 育 音 樂 學 校

東京音樂學校内  
振替東京三六〇八三

後 援 東 京 音 樂 學 校

第二十三回 冬期講習會 (昭和六年度)

帝國教育會

◎學科・講師・講義要目

◎教 育 學

東京帝國大學教授 文學博士 吉 田 熊 次氏

- 一、教育及び教育學の本義
- 二、教育學と人性論
- 三、教育學と社會理想
- 四、最近の教育學說的批判
- 五、最近の新教育の教育學的批判
- 六、將來の教育及び教育學

◎倫 理 學

東京帝國大學教授 文學博士 吉 田 靜 致氏

◎國 民 道 德

東京帝國大學教授 文學博士 深 作 安 文氏

- 第一、國 家 生 活
- 一、四種の生活様式 二、國家の意義 三、國家の本質
- 第二、我 が 帝 國
- 一、建國の詔勅 二、まごゝろ 三、道 の 國
- 第三、我 が 國 民 道 德
- 一、國民道徳の意義 二、家 族 制 度 三、國 體
- 第四、社會思想と國民道徳
- 一、思想の構成 二、マルキシズム 三、思想問題對策
- 第五、人格中心の國家生活
- 一、人格の意義 二、國家的な人格主義 三、我が同民道徳の改造

時 間 割 表

日	時	講 義 名
廿五日	9 10	教 育 學
廿六日	10 11	教 育 學
廿七日	11 12	教 育 學
廿八日	1 2	教 育 學
廿九日	2 3	教 育 學
三十日	3 4	教 育 學
		倫 理 學
		倫 理 學
		倫 理 學
		道 德 學
		道 德 學
		道 德 學
		道 德 學
		道 德 學

我 等 は 事 變 を 斯 く 見 る

——滿洲に於て現實に危險に曝されたる我等は——我等百萬の同胞を保護し危殆に瀕したる權益を擁護し、失はれたる國家の名譽を恢復せんが爲めに敢然起ちたる我國軍の態度を正しく自衛權の發動として承認した。全力を擧げて之を支持し暴戾なる東北軍憲に向つて徹底的の懲罰を加へんことを希望した。而して最短期日に彼等の最少犠牲とを以て最大効果を收め、且つよく止るべきに止り、國際精神を尊重したる我國軍の節度ある行動を賞讃する。在滿の支那兵二十二萬、其二十分の一の寡兵を以て克く自衛の目的を達したる武勇を賞讃する。若し夫れその嚴正なる軍規に至りては匪賊と選ぶなき自國軍兵に馴れたる支那大衆をして驚異せしめ、之に對する信頼日に加はることを聞くは我等が列國の前に誇らんとするところである。

我が軍憲が北平に在る張學良に對し速かに歸奉し、直ちに時局を收拾し自ら治安の維持に當るべきことを勸告せりとの報に驚きたる遼寧省商工團體が、學良を以て民衆搾取の大盜なりと斷じ其歸還を阻止せんことを本庄軍司令官に歎願したる一事は、事變後に於ける東北官民の感情を具體的に示すものとして注目値する。今や支那東北民衆により所々に自治機關組織せられ支那軍閥を離れて眞の平和郷を現出せんとする彼等の努力は効を奏しつゝある顯著なる傾向を取看するものであるが、斯の如きは張父子二代の專政が如何に甚しく良民を搾取したるかを語ると共に、一新の期に入らんとする東北民衆の心情を察して同情禁じ得ざるものである。

帝 國 教 育 會

電話九段三四五番  
振替東京一八六三一番

東京市神田區一橋通町

◎講 習 料

左の割合を以て申込書と共に拂込まれたい

- ▲一學科金二圓五十錢 ▲二學科金四圓五十錢 ▲三學科金六圓五十錢

但し帝國教育會員及講習會委員の紹介あるものは二割を減す

◎會 場 神田區一橋通町教育會館

- 一、申込期間 十二月十五日迄に必ず講習料を添へ、本會へ到着すべき日数を見込みて申込むこと
- 二、申込書には必ず學科目、氏名、住所、職業を明記せらるべきこと
- 三、講習料を添へざる申込は無効と致します
- 四、講習を拂込まれたる方には「講習員の章」と汽車賃五割引證とを送附致します
- 五、講習料は振替貯金口座東京一八六三一を以て拂込み其の用紙の裏面通信欄に、學科目、氏名、住所、職業を明記するが一番安全です。
- 六、本會講習員には現職教員、視學に限り鐵道省線全線に亘り汽車賃半減の特典

受入番号 20148  
 受入年月日 昭 2. 8. 9 調  
 受入先  
 價 格 一 令

叙任辭令

休職	同	依願退	退職	任金澤訓	任長井訓	任鎌倉尋高訓	任同代用	千葉縣三出向	任南秦野訓	千葉縣出向	依願退	同	休職
平塚高等訓	關谷昇	走水	鈴木藤枝	金澤訓	長井訓	鎌倉尋高	鎌倉尋高	沙入訓	南秦野訓	南秦野訓	長井代用	武山代用	平塚高等訓
		齊藤榮子	三繩昌子	林 7 ミ	松島俊治	菊地郁	細井精	小川文夫	小澤惠太郎	黒川藤吉郎	黒川藤吉郎	木村 穰	
前羽實補	船越訓	任南太田專訓	任元街商修	任市場校長	依願退	中、平塚第三訓	中、平塚第三訓	中、平塚高等訓	任平塚高等訓	任平塚第三訓	任平塚第三訓	任下野谷校長	
小林あきら	戸田淳四郎	江吾田訓	元街訓	幸谷	中、曾屋訓	曾屋訓	曾屋	茅ヶ崎	比々多	比々多	市場校長		
福原 猛	森田龜五郎	石原 力	吉村菊子	田中銀藏	佐野富貴子	曾我岩雄	向井英彦	友清貞吉	片岡五夫	鷲尾正一	金子直衛	高橋ハル	佐藤 緑

本誌定價  
 一部 金貳拾五錢  
 一年分前納 金貳圓五十錢

本誌廣告料  
 特別頁 一頁 十圓 半頁 五圓  
 普通頁 一頁 五圓 半頁 三圓  
 三ヶ月以上連續掲載 三割引  
 六ヶ月以上連續掲載 五割引

昭和六年十二月三日印刷  
 昭和六年十二月五日發行

發行所 神奈川縣教育會  
 振替貯金口座東京三三三番  
 横濱市中區日本大通り縣廳教務課内

編輯人 吉田清太郎  
 横濱市中區住吉町五丁目五十八番地

印刷人 鈴木清五  
 横濱市中區住吉町五丁目五十八番地

印刷所 横濱活版舎  
 (電話長青町五〇六七番)

神奈川縣教育關係職員錄

昭和六年版

御入用の方は残本のある限りお頒けいたしますか  
 ら、至急御申込み下さい

實費 金五拾錢 (送料共)

附。發送濟みの代金は速納を願ひます

